

LGBT+PRIDE 2023

イプソス・グローバルアドバイザーによる 世界30カ国の調査

詳細 : <https://www.ipsos.com/en/pride-month-2023-9-of-adults-identify-as-lgbt> (英語)
<https://www.ipsos.com/ja-jp/pride-month-2023-9-of-adults-identify-as-lgbt> (日本語)

© 2023 Ipsos. All rights reserved. Contains Ipsos' Confidential and Proprietary information and may not be disclosed or reproduced without the prior written consent of Ipsos.



主な調査結果

LGBT+の人口シェアは平均9%

調査対象30カ国の平均で、成人の3%がレズビアンまたはゲイ、4%がバイセクシャル、1%がパンセクシャルまたはオムニセクシャル、1%がアセクシャルに属していることが明らかになった。Z世代はミレニアル世代の2倍、X世代とベビーブーマー世代の4倍、バイセクシャル、パンセクシャル／オムニセクシャル、アセクシャルに属している。

世界的にみると、1%がトランスジェンダー、1%がノンバイナリー／ノンコンフォーミング／ジェンダーフルイド、1%がどちらでもないが男性とも女性とも違うと回答している。

LGBT+に属する成人の割合は、ブラジルの15%からペルーの4%に及ぶ。

LGBT+の認知度は上がっているが、それでも国によって大きく異なる

この2年間で、LGBT+コミュニティのあらゆるセグメントがより認知されるようになった。

グローバルの平均では、成人の2人に1人がゲイやレズビアン、ホモセクシャルの親戚、友人、同僚がいると回答し、4人に1人がバイセクシャルの人、8人に1人がトランスジェンダーとノンバイナリー、ノンコンフォーミング、ジェンダーフルイドの人がいると回答している。女性は男性よりも、若年層は高齢者よりも、LGBT+の人々を知っていると回答する傾向が強い。

LGBT+の認知度は国によって大きく異なる。スペイン、ラテンアメリカ、タイ、英語圏で最も高く、日本、韓国、トルコ、東ヨーロッパで最も低い。

すべての国ではないが、多くの国で同性婚と子育てを支持する人が多数派である

同性婚の支持率は、同性婚が合法である調査対象20カ国すべてと、合法でない調査対象10カ国のうち2カ国で、49%から80%であった。トルコを除く他のすべての国で過半数が少なくとも何らかの形で同性婚を法的に承認することを支持している。

世界的にみると、約3分の2が、同性婚カップルは他の親と同じように子供をうまく育てられると回答し、異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべきだと答えている。これらの意見は、4カ国を除くすべての国で多数派を占めている。

しかし、2021年以降、いくつかの欧米諸国では同性婚や子育てへの支持が軟化している。

雇用や住居に関する差別からの保護に対する支持は、他のトランスジェンダーの保護策よりも広く支持されている

世界的にみると、67%がトランスジェンダーの人々は少なくともかなりの差別に直面していると回答し、76%が雇用、住居、レストランや店舗などの利用において差別から守られるべきだと回答している。

その他の施策に関する意見はより複雑で、トランスジェンダーのティーンエイジャーが親の同意のもとでジェンダーアファーマーセッションケアを受けることを認めるべきだとする人が平均60%、トランスジェンダーの人々が性別に合った男女別の施設を利用することを認めるべきだとする人は55%、公的な文書に「男性」「女性」以外の選択肢を設けるべきだとする人は53%、健康保険制度は他の医療行為と同様に性転換費用を負担するべきであるとする人は47%であった。

トランスジェンダー支援策への支持は、年齢、性別、特に国によって異なり、特に若年層と女性で高い傾向がある。一般的にタイ、南ヨーロッパ、ラテンアメリカで最も高く、韓国、東ヨーロッパ、英国、米国で最も低い。

性的指向と性自認



性的指向と性自認 – サマリー

調査対象となった30カ国の平均では、成人の3%がレズビアンまたはゲイ、4%がバイセクシャル、1%がパンセクシャルまたはオムニセクシャル、1%がアセクシャルに属している。

男性はレズビアン（またはゲイ、ホモセクシャル）である女性よりもゲイ（またはホモセクシャル）である傾向が高い（グローバルの平均で4% vs. 1%）が、バイセクシャル、パンセクシャル／オムニセクシャル、アセクシャルである傾向はどちらも同程度。Z世代はミレニアル世代の約2倍、X世代とベビーブーマー世代の約4倍、バイセクシャル、パンセクシャル／オムニセクシャル、アセクシャルに属している。

ゲイまたはレズビアンであるとする回答が最も多いのはスペイン（6%）で、バイセクシャルであるとする回答が最も多いのはブラジルとオランダ（ともに7%）。日本はゲイまたはレズビアンと自認する傾向が最も低く（1%未満）、バイセクシャルと自認する傾向も最も低い国である（1%）。

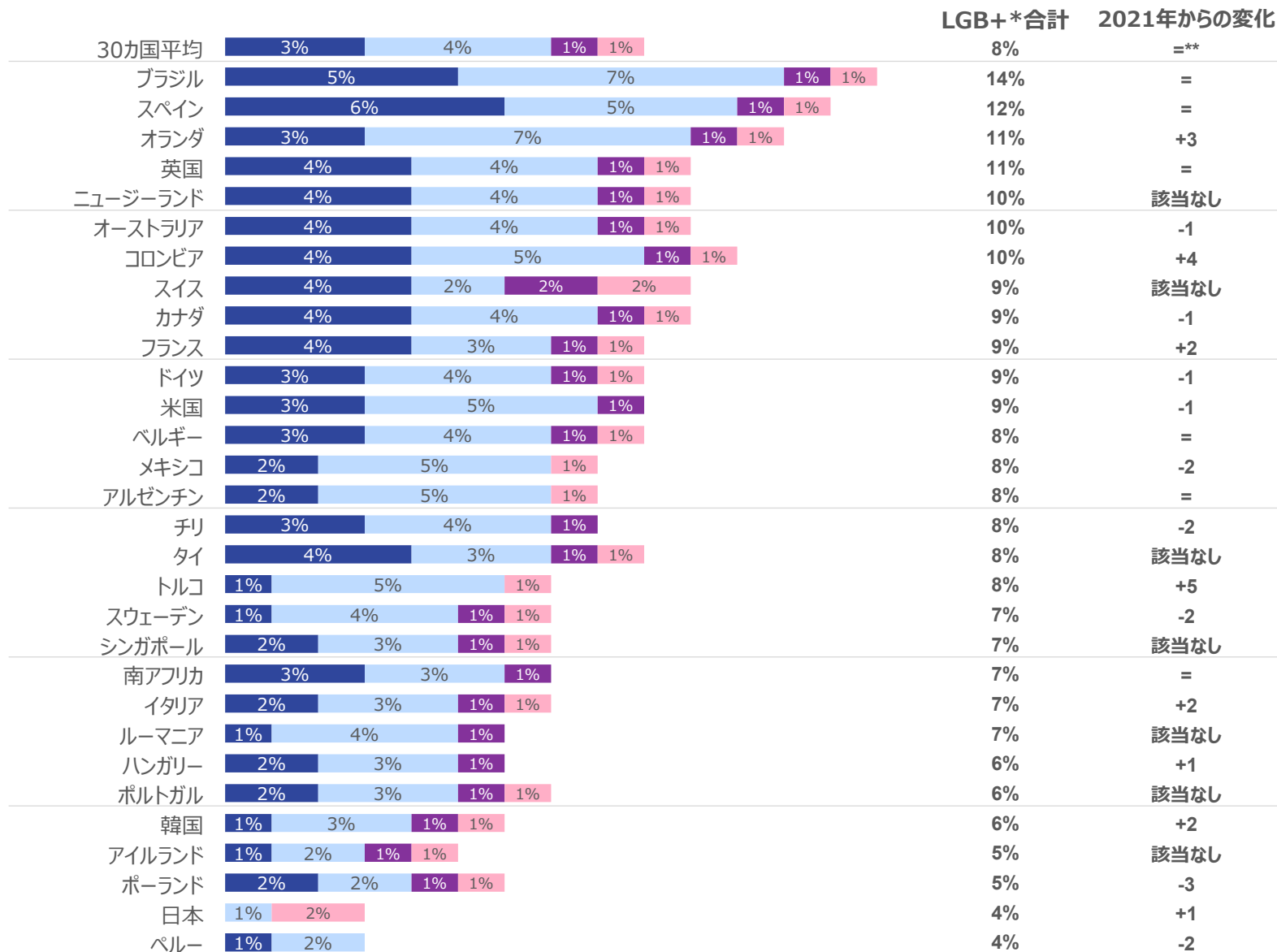
世界的にみると、1%がトランスジェンダー、1%がノンバイナリー、ノンコンフォーミング、ジェンダーフルイド、1%がどちらでもないが男性とも女性とも違うと回答している。また、自身をこれらのいずれかと表現する傾向については、若年層と高齢者で大きな差がある。Z世代では6%、ミレニアル世代では3%であるのに対し、X世代とベビーブーマー世代ではともに1%である。そしてその差は拡大している：Z世代とミレニアル世代では2021年以降+2ポイントであるのに対し、X世代とベビーブーマー世代では+1ポイントかそれ以下である。

LGBT+に属する人口の平均は9%である。LGBT+に属する成人の割合は、30カ国の平均でZ世代が18%、ベビーブーマーが4%、ブラジルでは15%、ペルーでは4%と、世代や地域によって大きく異なる。

性的指向 (国別)

Q. 次のうち、該当するものがあればお答えください。

- レズビアン／ゲイ／ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル／オムニセクシャル
- アセクシャル



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

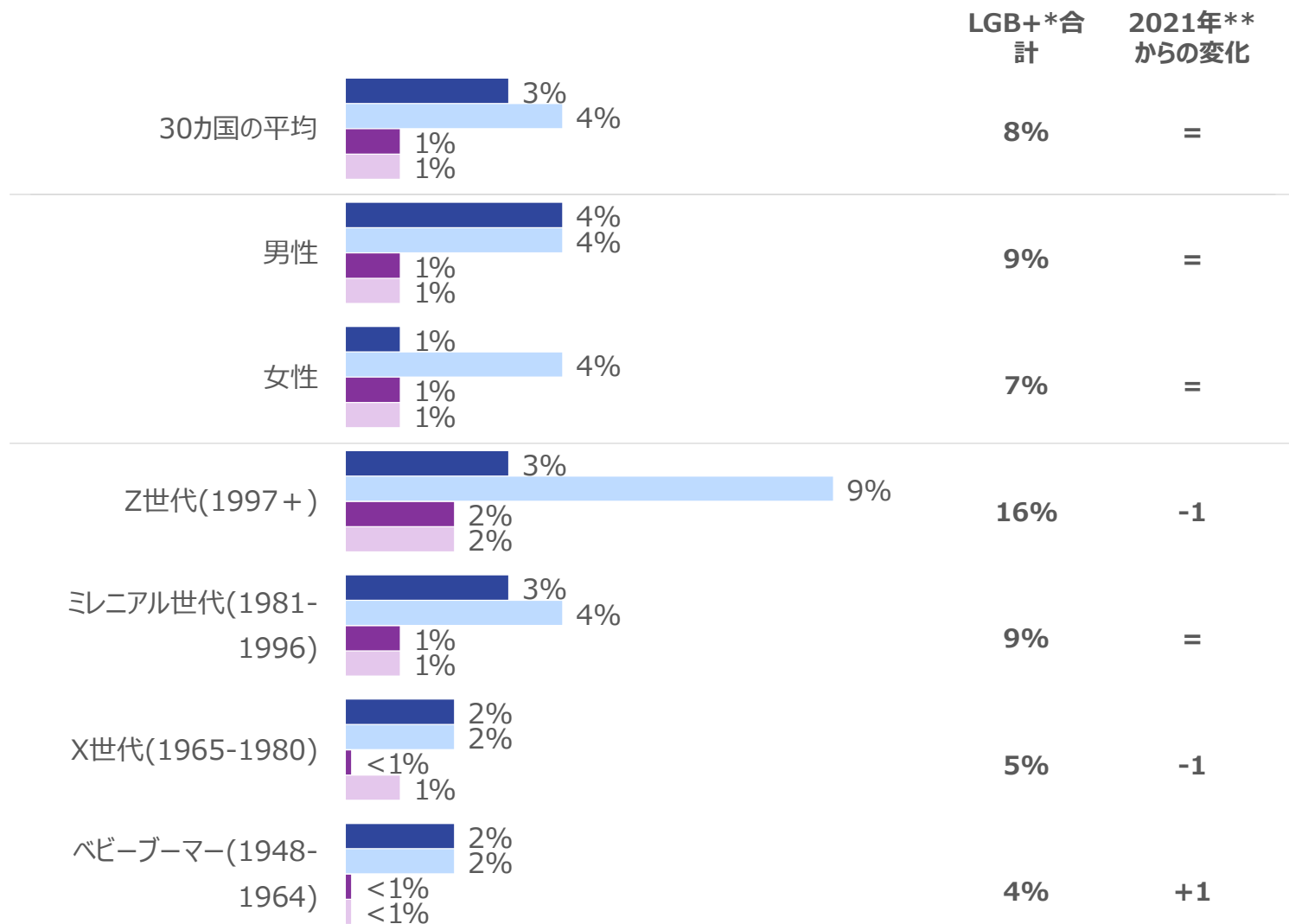
* レズビアン／ゲイ／ホモセクシャル＋バイセクシャル＋パンセクシャル／オムニセクシャル＋アセクシャル
 ** 2021年、2023年ともに平均23カ国が調査対象
 LGB+の合計の割合は、すべての選択肢の合計よりも若干高いか低い場合がある（すべて小数点以下を四捨五入しているため）



性的指向 (ジェンダー別、世代別)

Q.現在、ご自身をいずれかと表現していますか？

- レズビアン／ゲイ／ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル／オムニセクシャル
- アセクシャル



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

* レズビアン／ゲイ／ホモセクシャル＋バイセクシャル＋パンセクシャル／オムニセクシャル＋アセクシャル
** 2021年、2023年ともに平均23カ国が調査対象
LGB+の合計の割合は、すべての選択肢の合計よりも若干高いか低い場合がある（すべて小数点以下を四捨五入しているため）

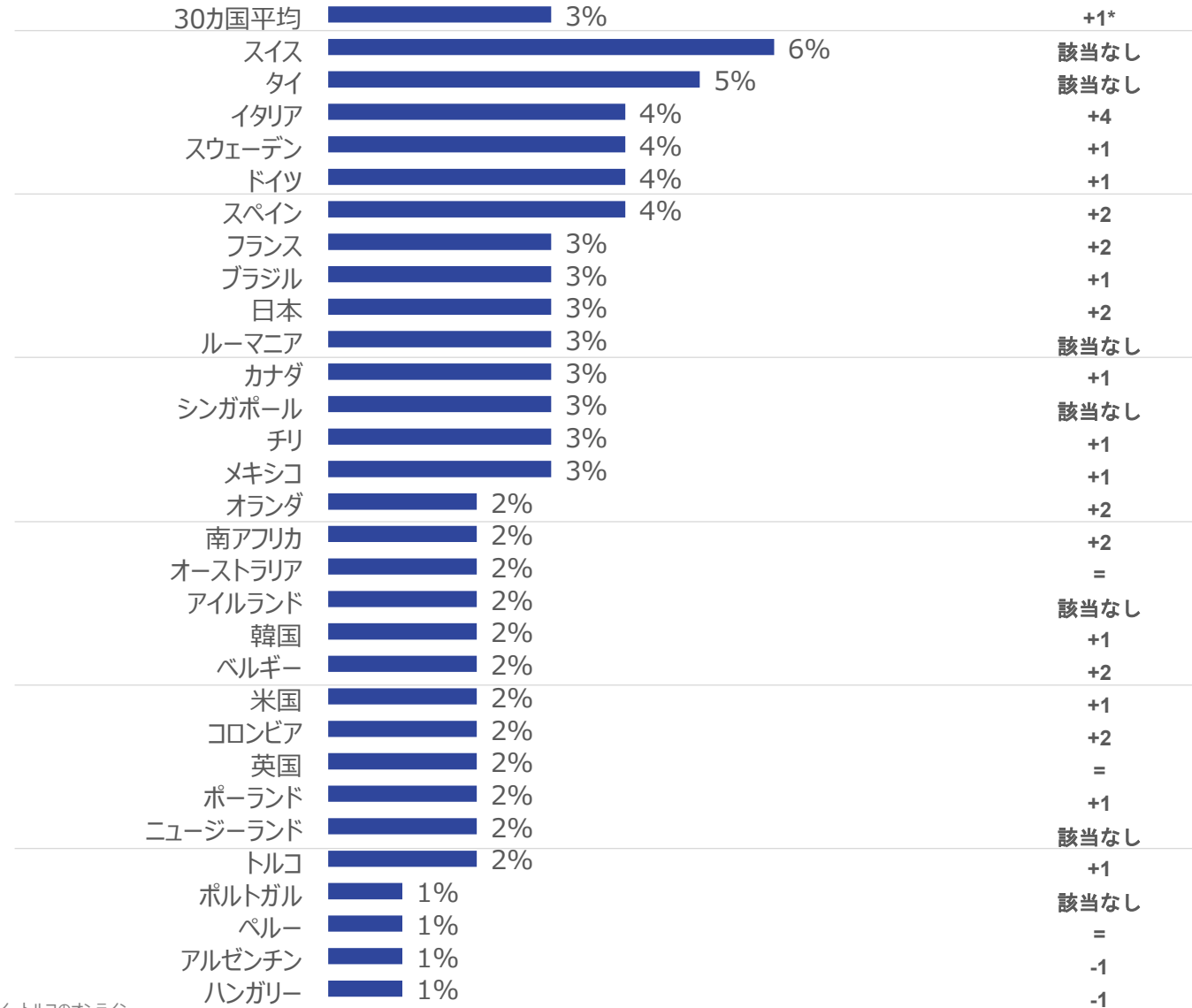


性自認 (国別)

Q. 次のうち、該当するものがあればお答えください。

以下のいずれか：

- ・ トランスジェンダー
- ・ ノンバイナリー／ノンコンフォーミング／ジェンダーフルイド
- ・ どちらでもないが男性とも女性とも違う



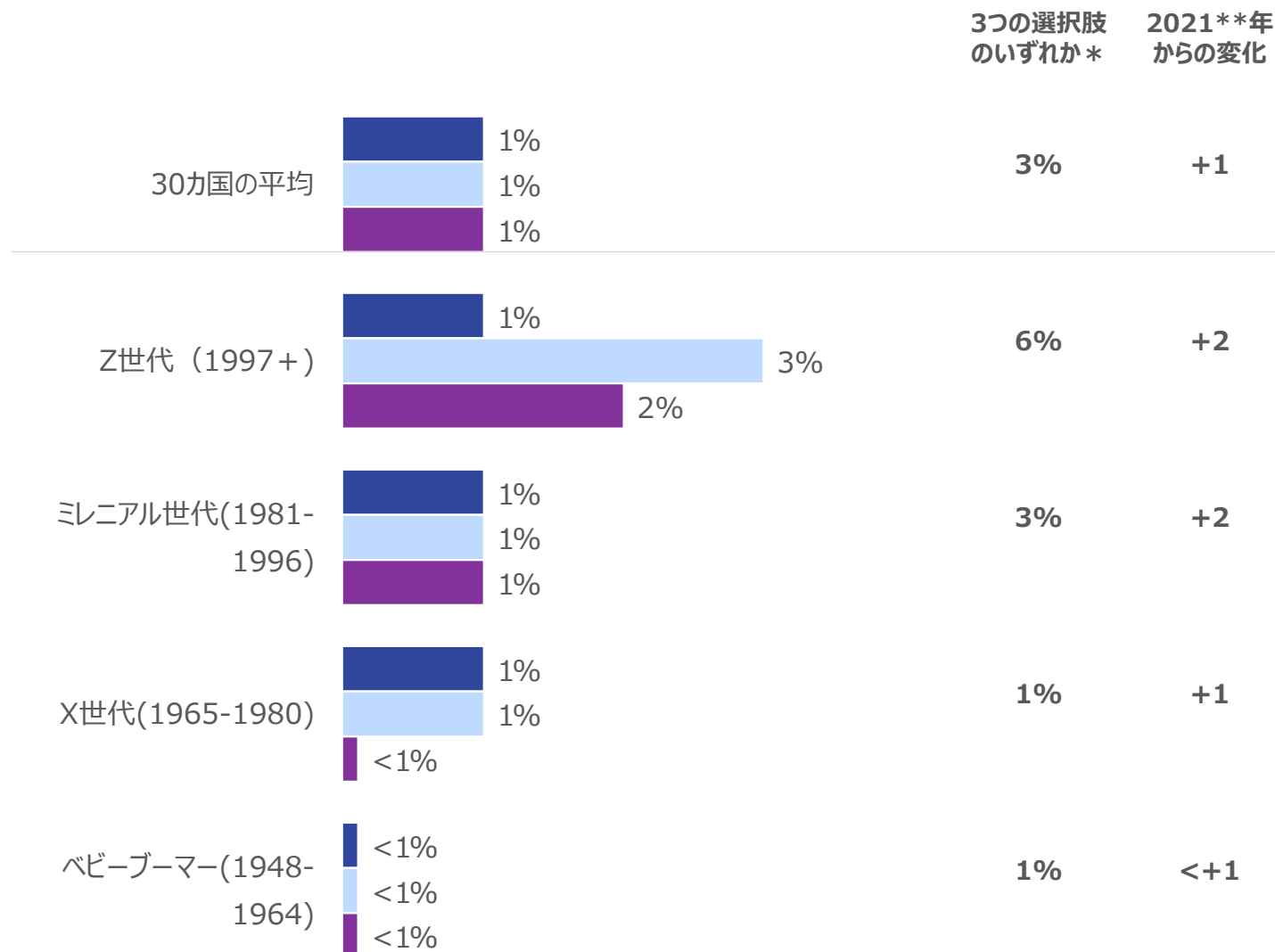
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

* 2021年、2023年ともに平均23カ国が調査対象

性自認 (世代別)

Q.現在、ご自身をいずれかと表現していますか？

- トランスジェンダー
- ノンバイナリー、ノンコンフォーミング、ジェンダーフルイド
- どちらでもないが男性とも女性とも違う



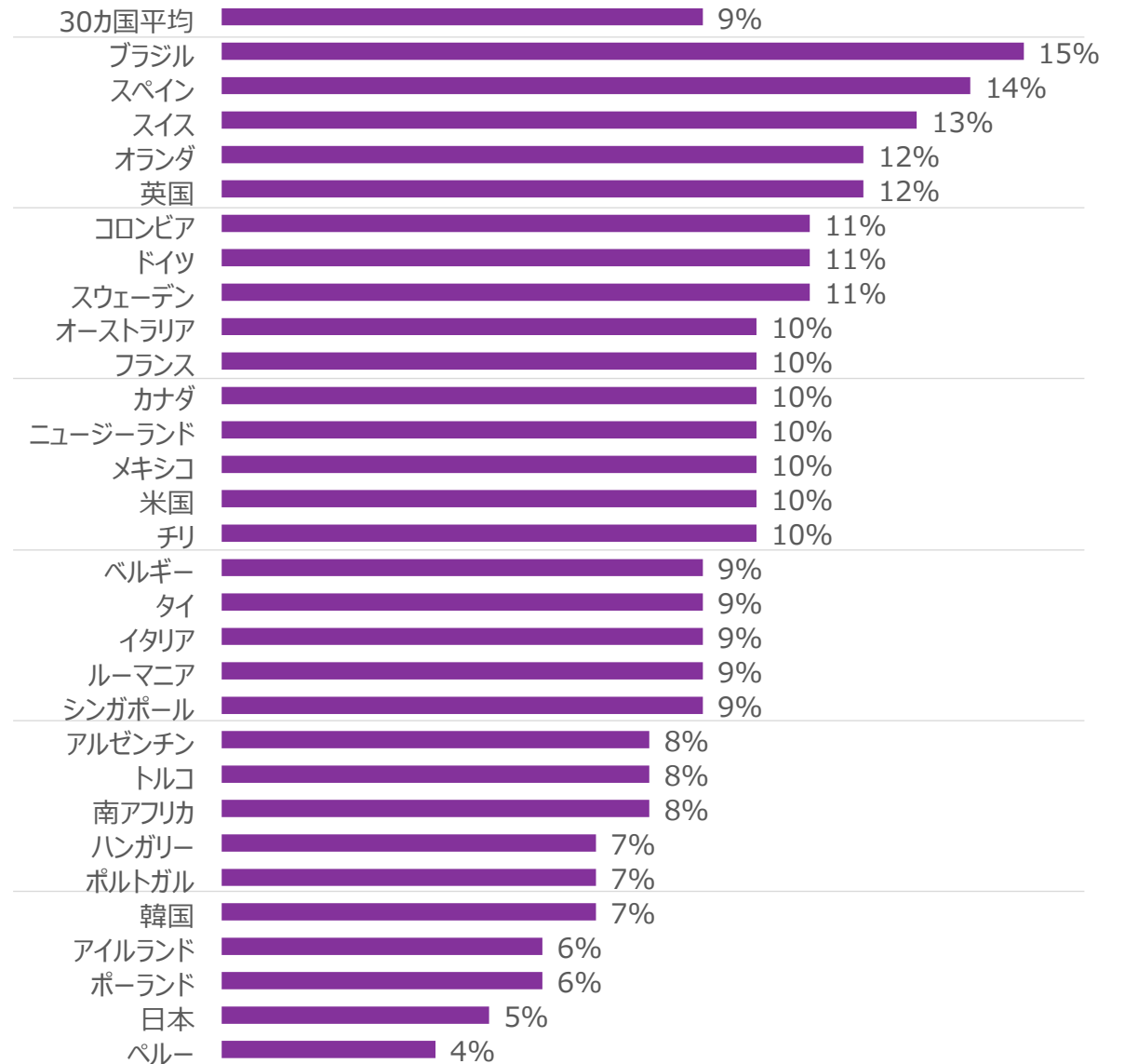
ベース：30カ国の16~74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

・ トランスジェンダー、ノンバイナリー／ノンコンフォーミング／ジェンダーフルイド、どちらでもないが男性とも女性とも違う、のトータル
 ** 2023年のすべての調査対象国と2021年のすべての調査対象国の比較を平均したもの
 合計の割合は、すべての選択肢の合計よりも若干高いか低い場合がある（すべて小数点以下を四捨五入しているため）

国別のLGBT+に属する成人の割合

以下のいずれか：

- レズビアン／ゲイ／ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル／オムニセクシャル
- アセクシャル
- トランスジェンダー
- ノンバイナリー／ノンコンフォーミング／ジェンダーフルイド
- 男性、女性以外



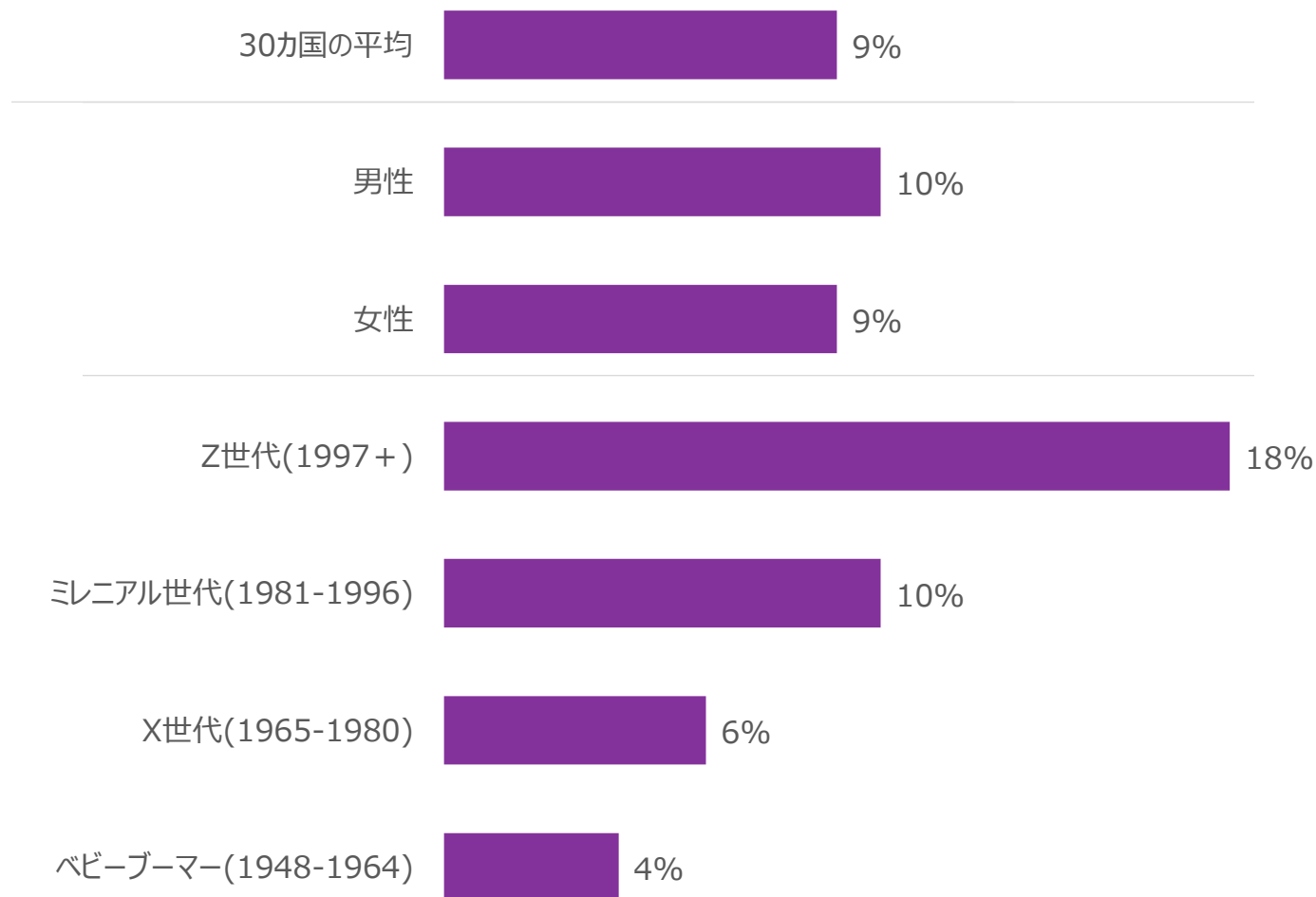
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる LGBT+に属する成人の割合

以下のいずれか：

- レズビアン／ゲイ／ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル／オムニセクシャル
- アセクシャル
- トランスジェンダー
- ノンバイナリー／ノンコンフォーミング／ジェンダーフルイド
- 男性、女性以外



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

LGBT+の認知度



LGBT+の認知度 – サマリー

この2年間で、LGBT+の人々に対する認知度は上がっている。調査対象国すべての平均で、ゲイやレズビアン、ホモセクシャルの親戚、友人、同僚がいると回答した人は47%で、2021年から5ポイント上昇しており、バイセクシャルの人を知っていると回答した人は26%で2ポイント上昇し、トランスジェンダーの知り合いがいると回答した人は13%で3ポイント上昇、ノンバイナリー、ノンコンフォーミング、ジェンダーフルイドの人を知っていると回答した人は12%で3ポイント上昇した。

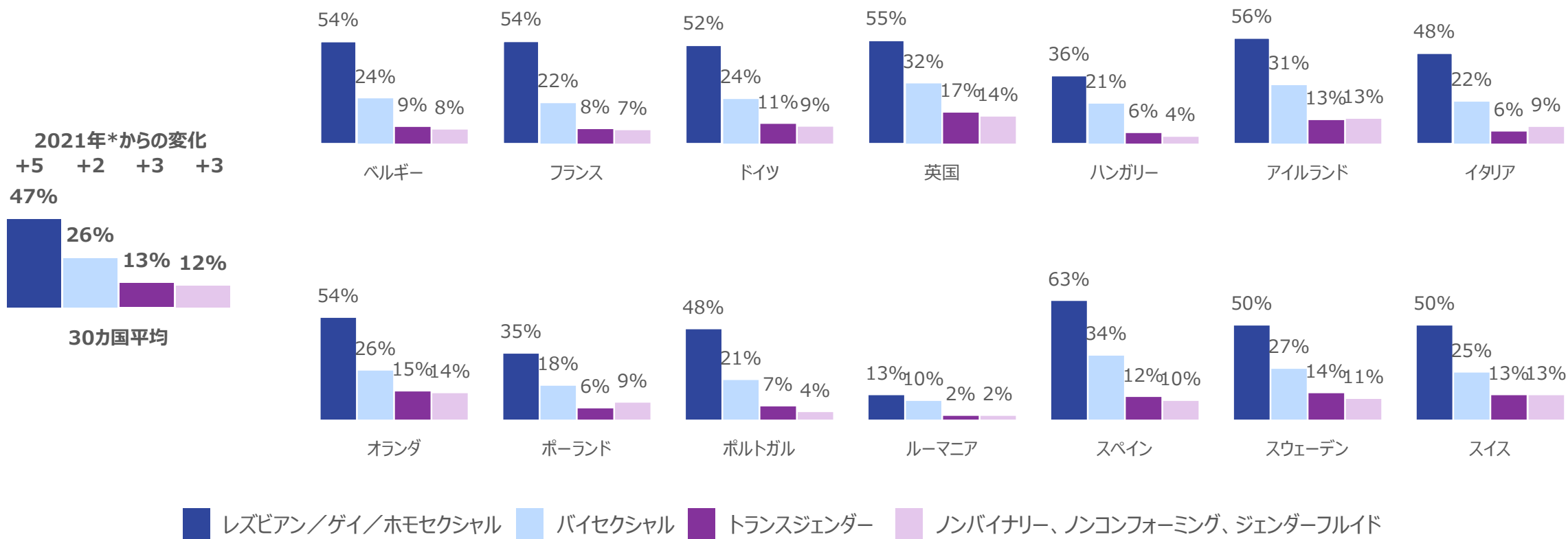
LGBT+の認知度は国によって大きく異なる。ゲイやレズビアン、バイセクシャルの親戚、友人、同僚がいると回答した人は、ラテンアメリカ、スペイン、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカで最も多くなっている。性の多様性は、アングロスフィア、ブラジル、そして特にタイで最も顕著である。

一方、LGBT+コミュニティのさまざまなセグメントの認知度は、日本、韓国、トルコ、ルーマニア、ハンガリー、ポーランドで最も低くなっている。

女性は男性よりも異なる性的指向や性自認を持つ人を知っていると回答する傾向がある。自認と同様に、LGBT+に属する人を知っているという割合は高齢層よりも若年層で非常に高くなっている。バイセクシャルやノンバイナリー、ノンコンフォーミング、ジェンダーフルイドの人を知っているかどうかについては世代間の差が特に顕著で、どちらの場合もZ世代はX世代の2倍、ベビーブーマーの3倍の割合で知っていると回答している。

国別のLGBT+の認知度（30カ国の平均+ヨーロッパ）

Q.親戚、友人、職場の同僚に以下のような人がいますか？（はい、と回答した人の割合）

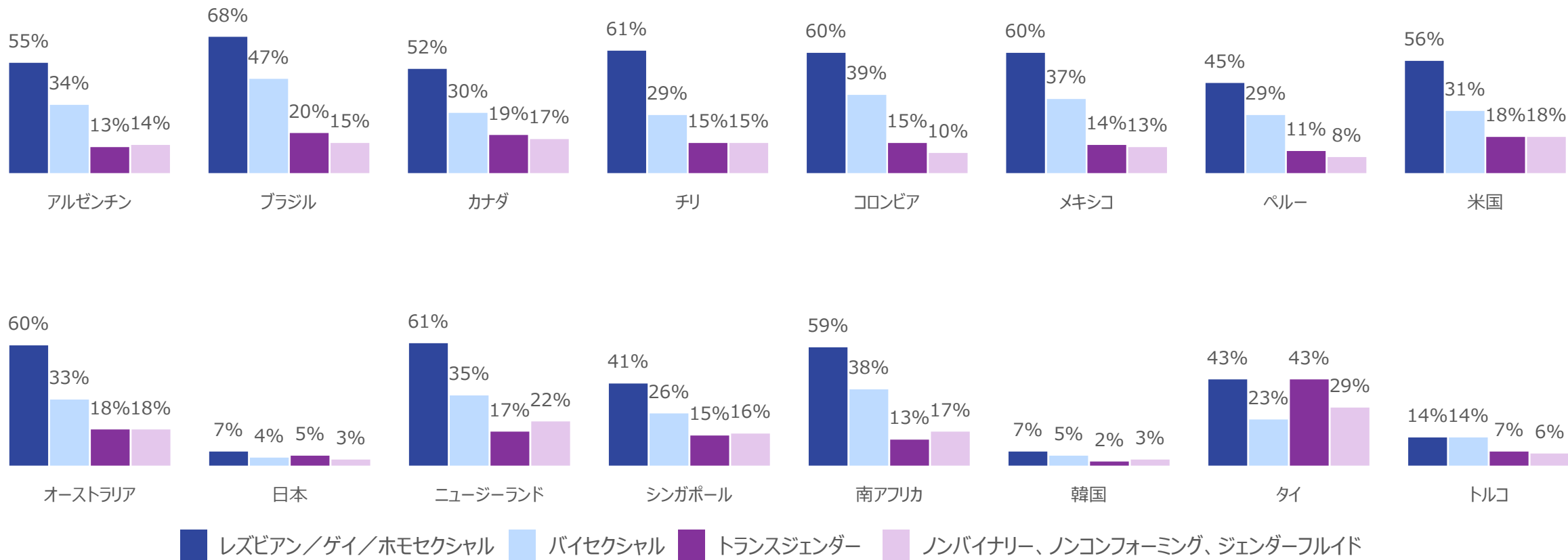


ベース：30カ国の16~74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

* 2023年のすべての調査対象国と2021年のすべての調査対象国の比較を平均したもの

国別のLGBT+の認知度（米国、アジア太平洋/アフリカ）

Q. 親戚、友人、職場の同僚に以下のような人がいますか？（はい、と回答した人の割合）



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる LGBT+の認知度

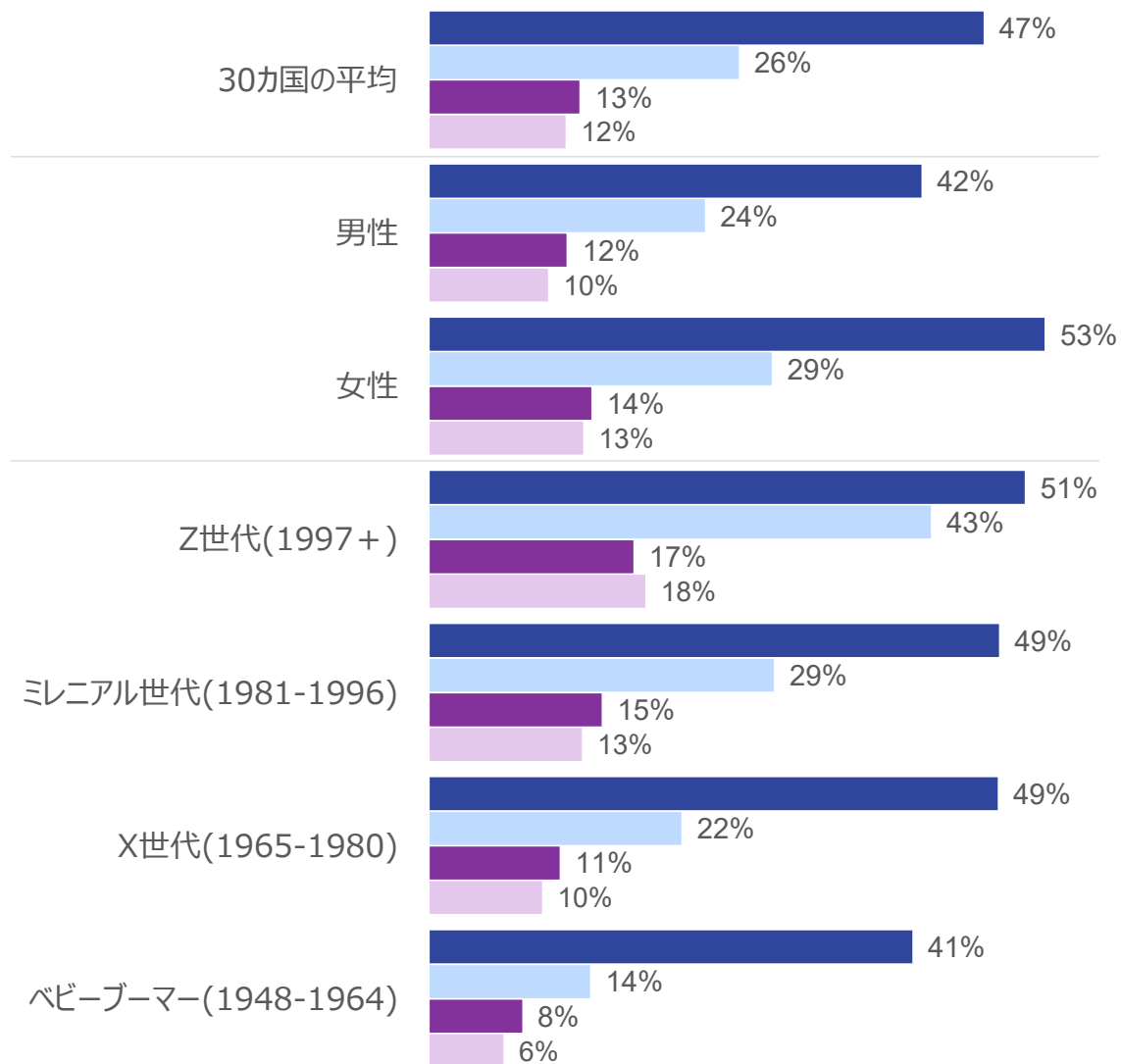
Q. 親戚、友人、職場の同僚に以下のような人がいますか？
(はい、と回答した人の割合)

■ レズビアン/ゲイ/ホモセクシャル

■ バイセクシャル

■ トランスジェンダー

■ ノンバイナリー、ノンコンフォーミング、ジェンダーフルイド



ベース：30カ国の16~74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

同性婚と子育て



同性婚と子育て – サマリー

調査対象の30カ国を平均すると、56%が同性婚を法的に認めるべきと回答し、16%が何らかの法的承認を得ることは認めるが結婚はすべきでないと回答し、わずか14%のみが結婚や何らかの法的承認を得ることは認めるべきではないと回答している。さらに14%は「わからない」と回答している。

同性婚の支持率は、同性婚が合法である調査対象20カ国すべてで49%から80%の範囲にある。同性婚が合法でない10カ国のうち、イタリアとタイでは過半数が同性婚を支持しており、トルコを除く他のすべての国で過半数が少なくとも何らかの形で同性婚を法的に承認することを支持している。調査対象国において、同性婚の法的承認に反対する回答者は、いずれも全体の3分の1を下回っている。女性は男性よりも同性婚を支持する傾向が顕著で、両者の差はグローバルの平均で10ポイントに及ぶ。

2021年、イプソスが2013年に調査を開始した15カ国のうち13カ国で、同性婚への支持率が大幅に上昇した。しかしその後、多くの国で停滞または減少している。2021年と今年の間で調査した23カ国のうち、同性婚を法的に認めるべきだと答えた割合が4ポイント以上減少したのは9カ国（カナダ、ドイツ、米国、メキシコ、オランダ、スウェーデン、英国、ブラジル、トルコ）で、4ポイント以上増加したのは2カ国（フランス、ペルー）のみだった。

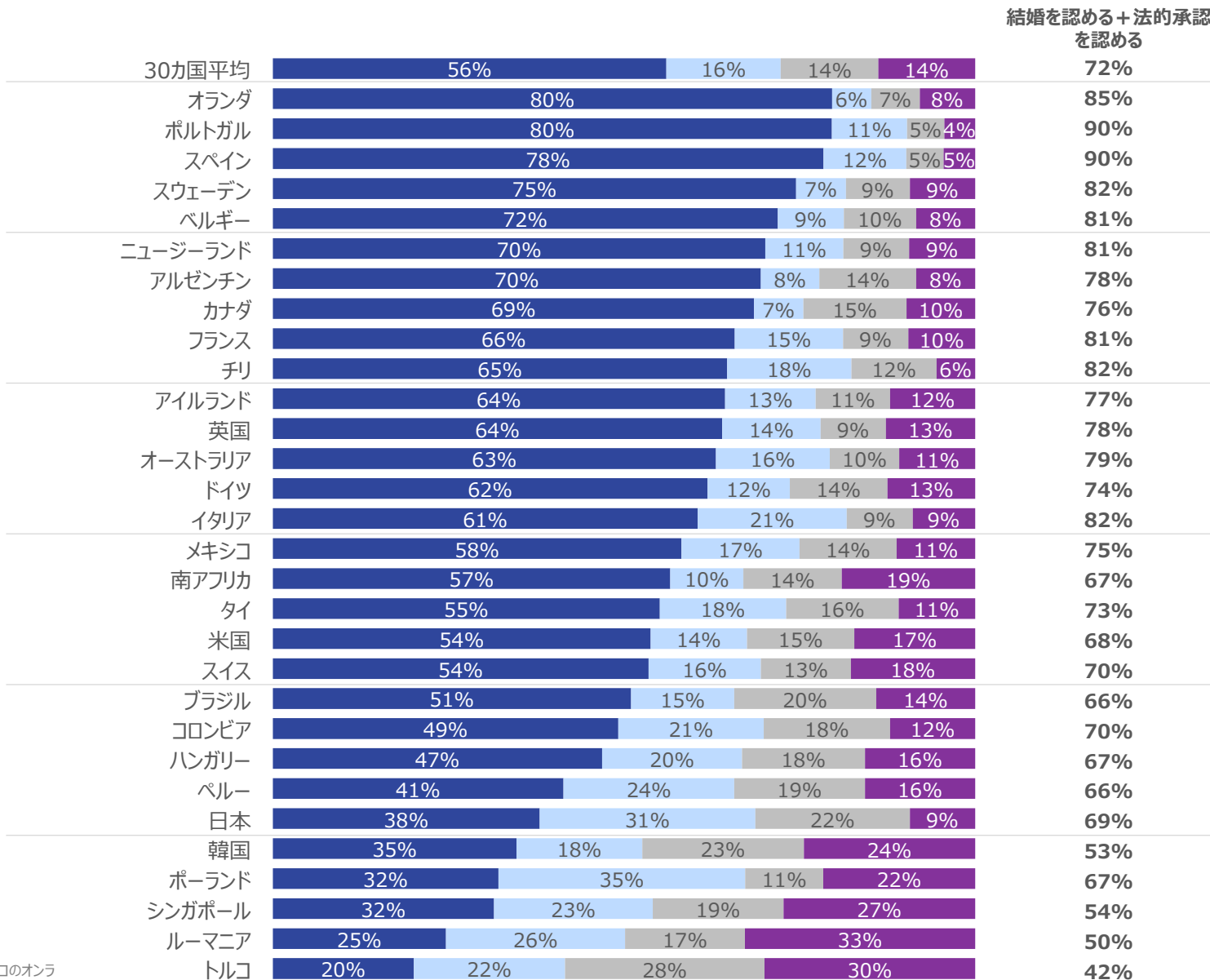
同性婚における子育てについては、同性婚に関する意見よりも柔軟なものが多いが、似通った傾向を示している。世界中で、65%が同性婚カップルは他の親と同じように子どもをうまく育てられると答え、64%が異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべきと答えている。これらの意見は、同性婚における養子縁組が認められていない国を含む26カ国で多数派を占めている。両方の意見に賛成する人より反対する人の方が多い国は、ポーランド、トルコ、ルーマニア、韓国のみである。ここでも、女性は男性よりも同性婚における子育てを支持している（平均約10ポイント差）。

過去2年間で、同性婚における養子縁組への支持率は、スウェーデン、米国、カナダ、オランダ、トルコで大きく減少したが、フランス、イタリア、コロンビア、ペルーでは大きく上昇した。

国別の同性婚に対する考え方

Q.同性婚カップルの権利について考えるとき、次のうちどれがあなたの個人的意見に最も近いですか？

- 同性婚を法的に認めるべき
- 何らかの法的承認を得ることは認めるが結婚はすべきでない
- わからない
- 結婚や何らかの法的承認を得ることは認めるべきではない



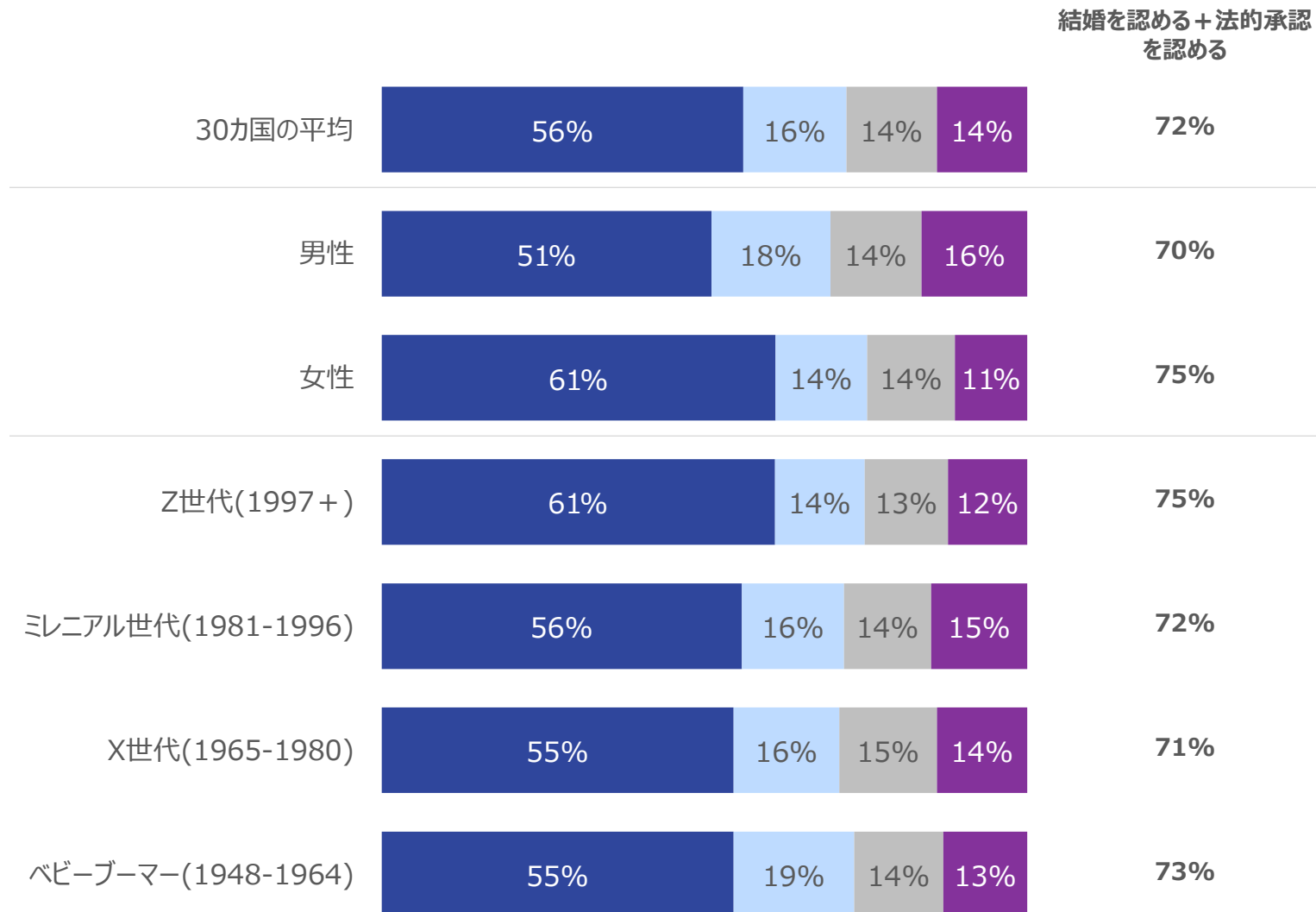
ベース：30カ国の16~74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

実質の割合は、2つの選択肢の合計値よりも若干高いか低い場合がある（すべて小数点以下を四捨五入しているため）

ジェンダー別、世代別にみる 同性婚に対する考え方

Q.同性婚カップルの権利について考えるとき、次のうちどれがあなたの個人的意見に最も近いですか？

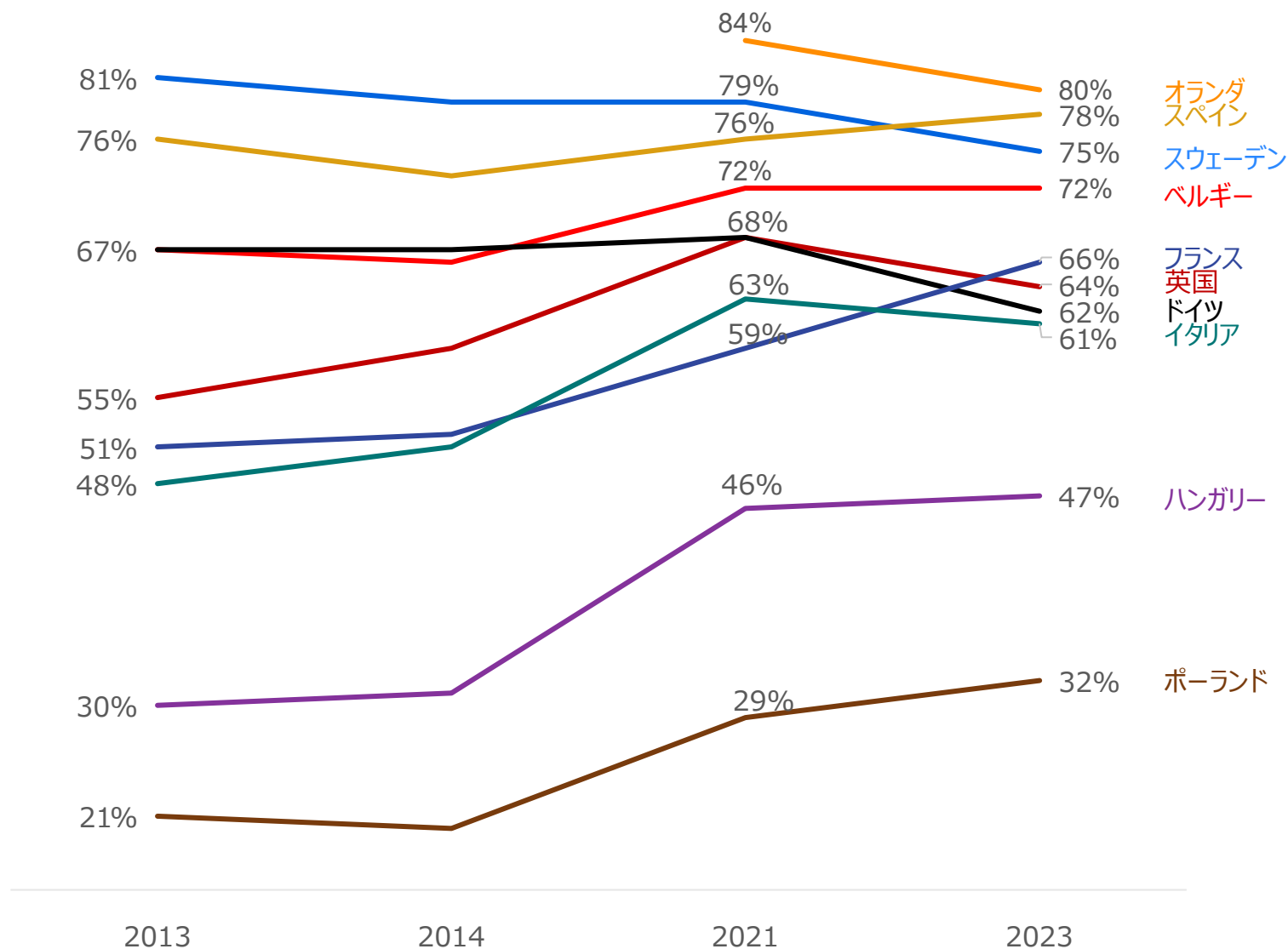
- 同性婚を法的に認めるべき
- 何らかの法的承認を得ることは認めるが結婚はすべきでない
- わからない
- 結婚や何らかの法的承認を得ることは認めるべきではない



国別にみる 同性婚支持率の変化 (ヨーロッパ)

Q.同性婚カップルの権利について考えるとき、
次のうちどれがあなたの個人的意見に最も近い
ですか？

同性婚を法的に認めるべき(%)

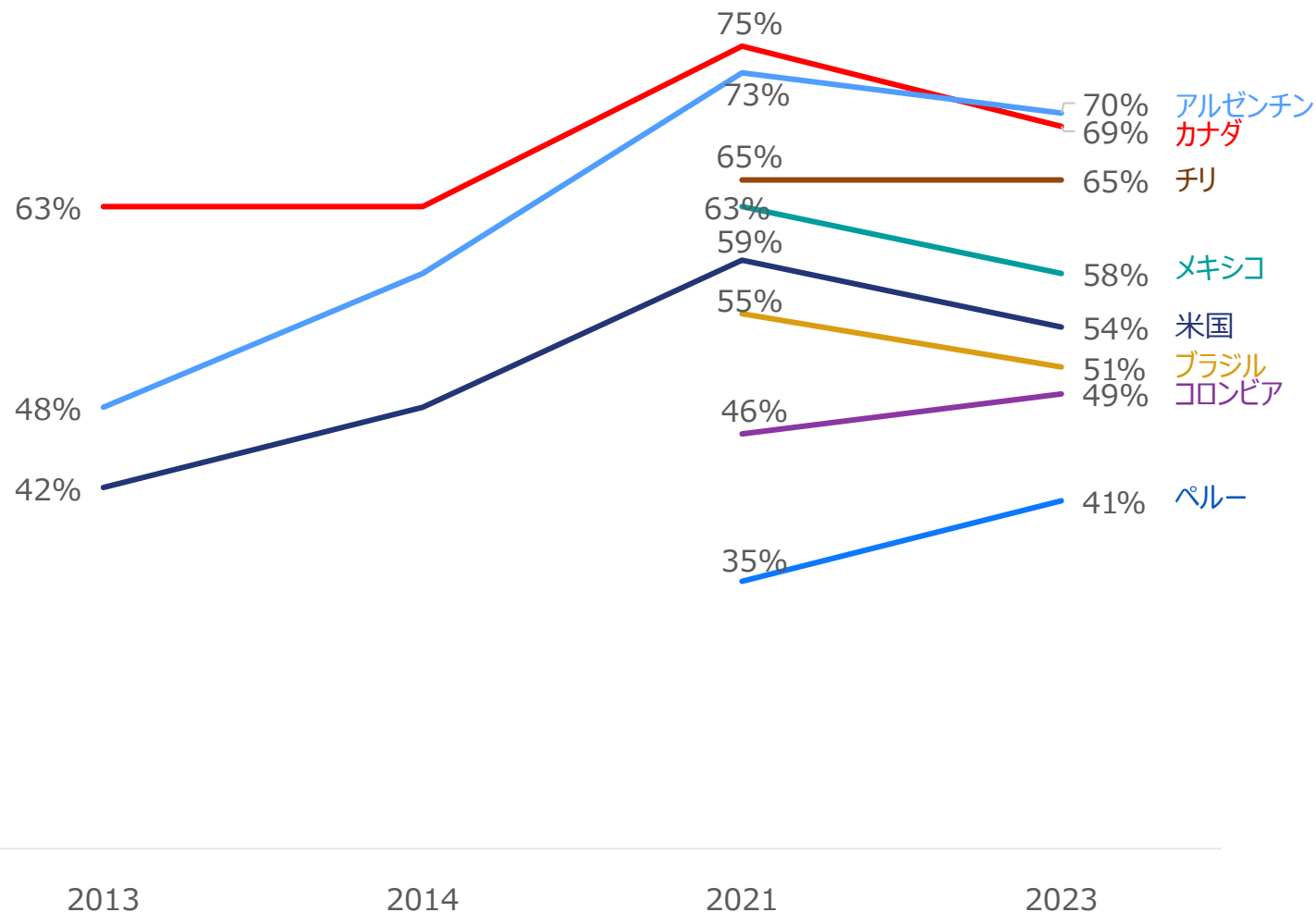


ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 同性婚支持率の変化 (アメリカ大陸)

Q.同性婚カップルの権利について考えるとき、
次のうちどれがあなたの個人的意見に最も近い
ですか？

同性婚を法的に認めるべき(%)



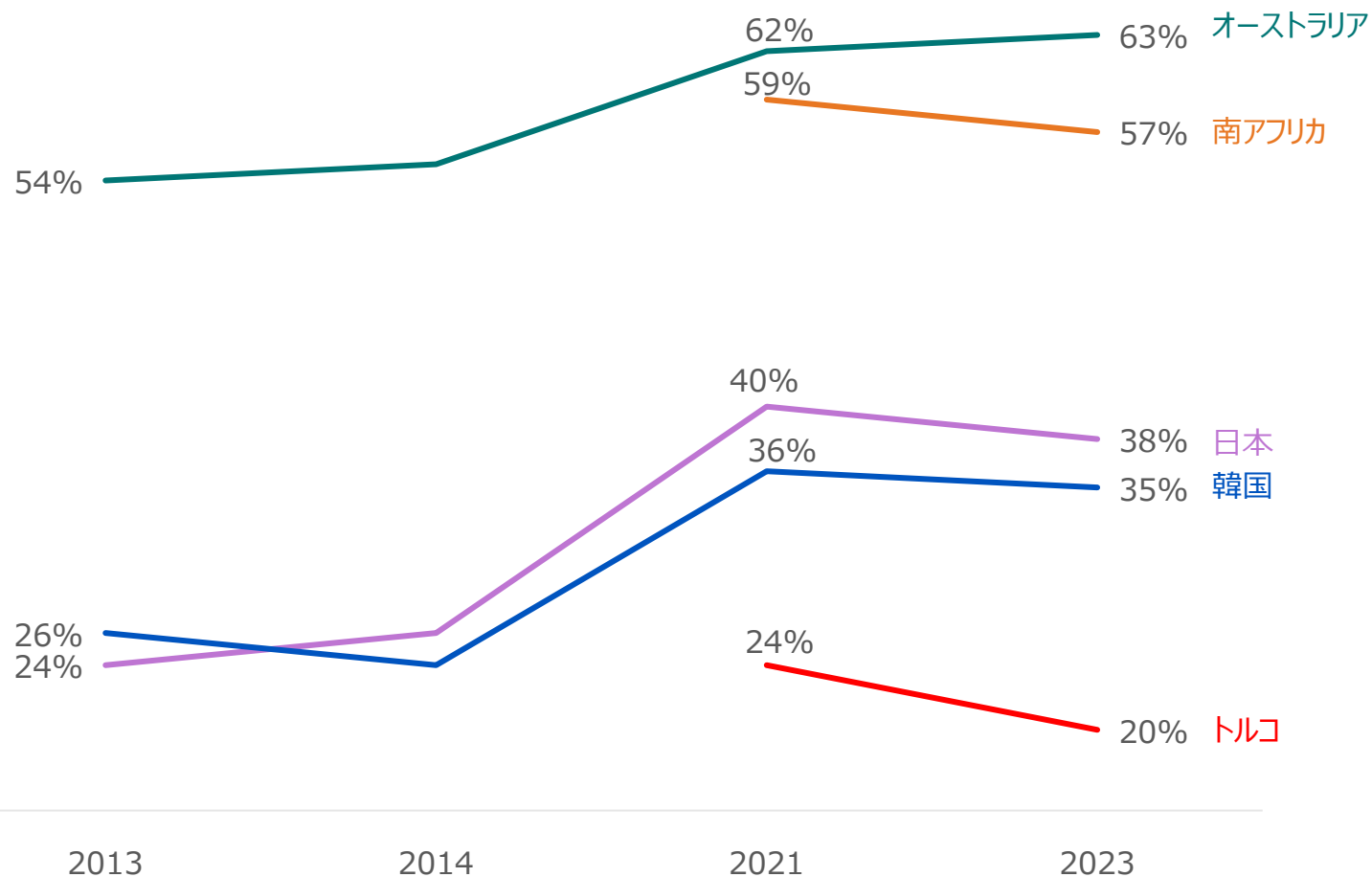
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 同性婚支持率の変化 (アジア太平洋／アフリカ)

Q.同性婚カップルの権利について考えるとき、
次のうちどれがあなたの個人的意見に最も近い
ですか？

同性婚を法的に認めるべき(%)



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人

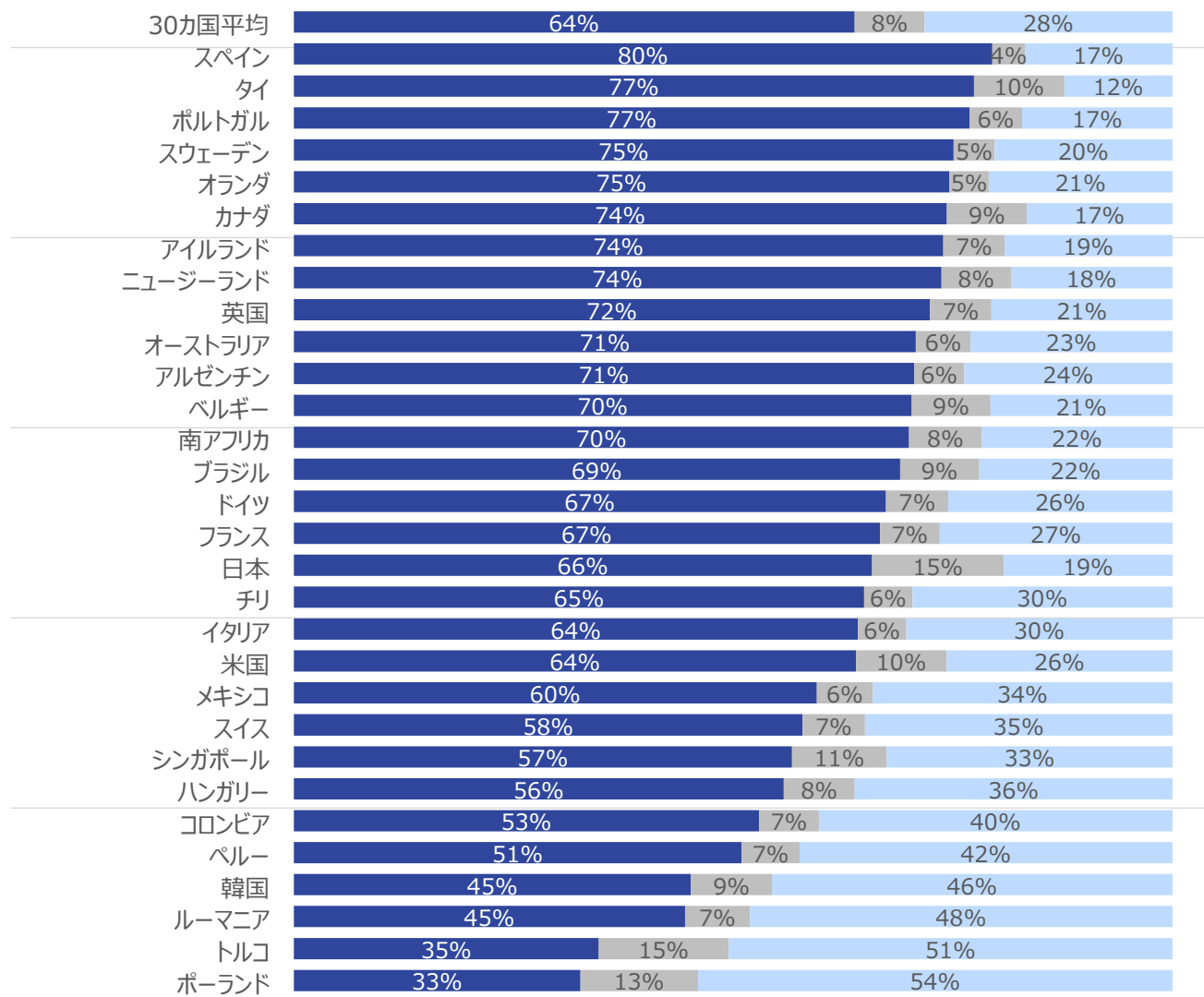
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 同性婚における養子縁組の 権利に関する見解

Q.同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：

同性婚カップルは、異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべき

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる 同性婚における養子縁組の権 利に関する見解

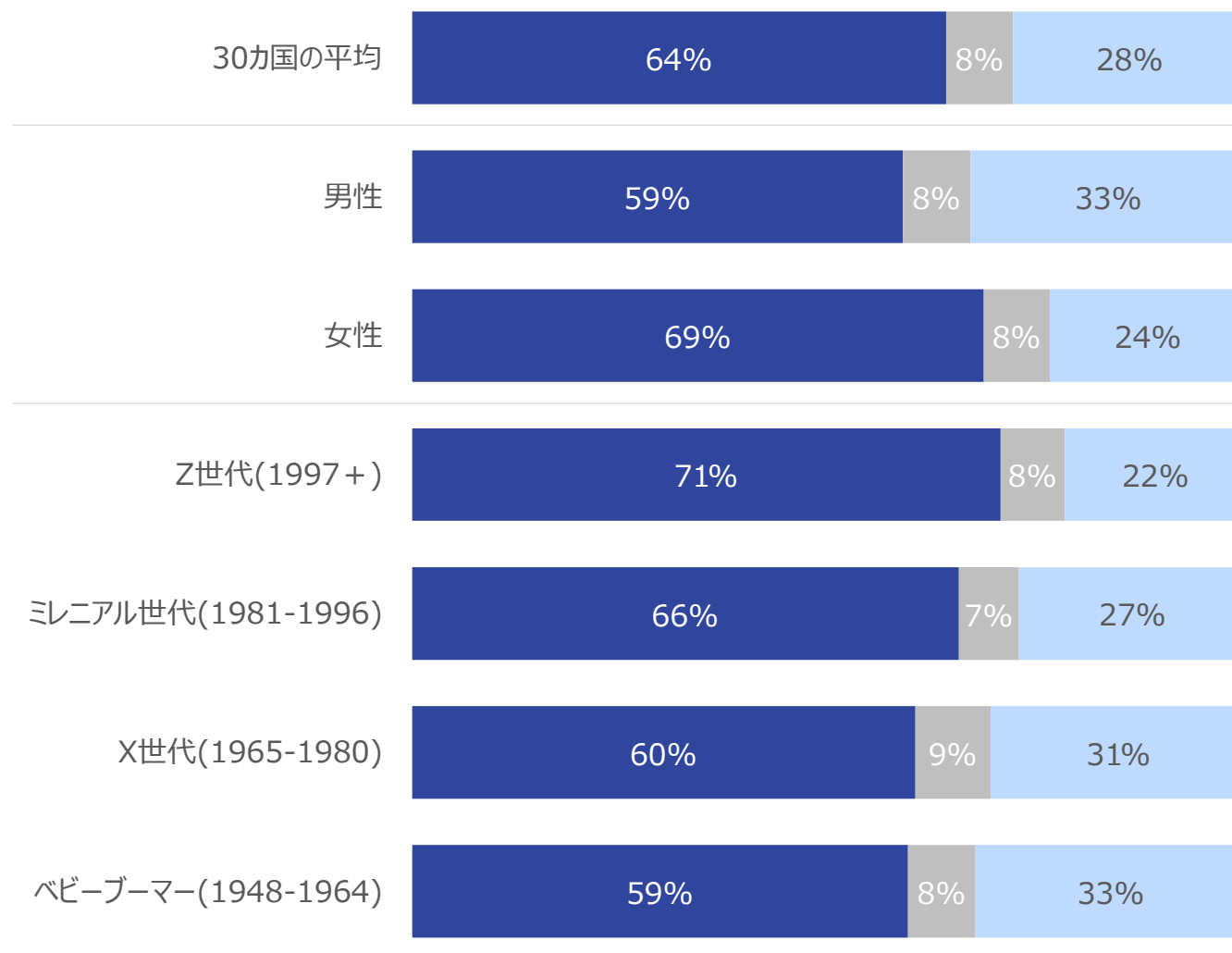
Q.同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：

同性婚カップルは、異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべき

■ 強く／ややそう思う

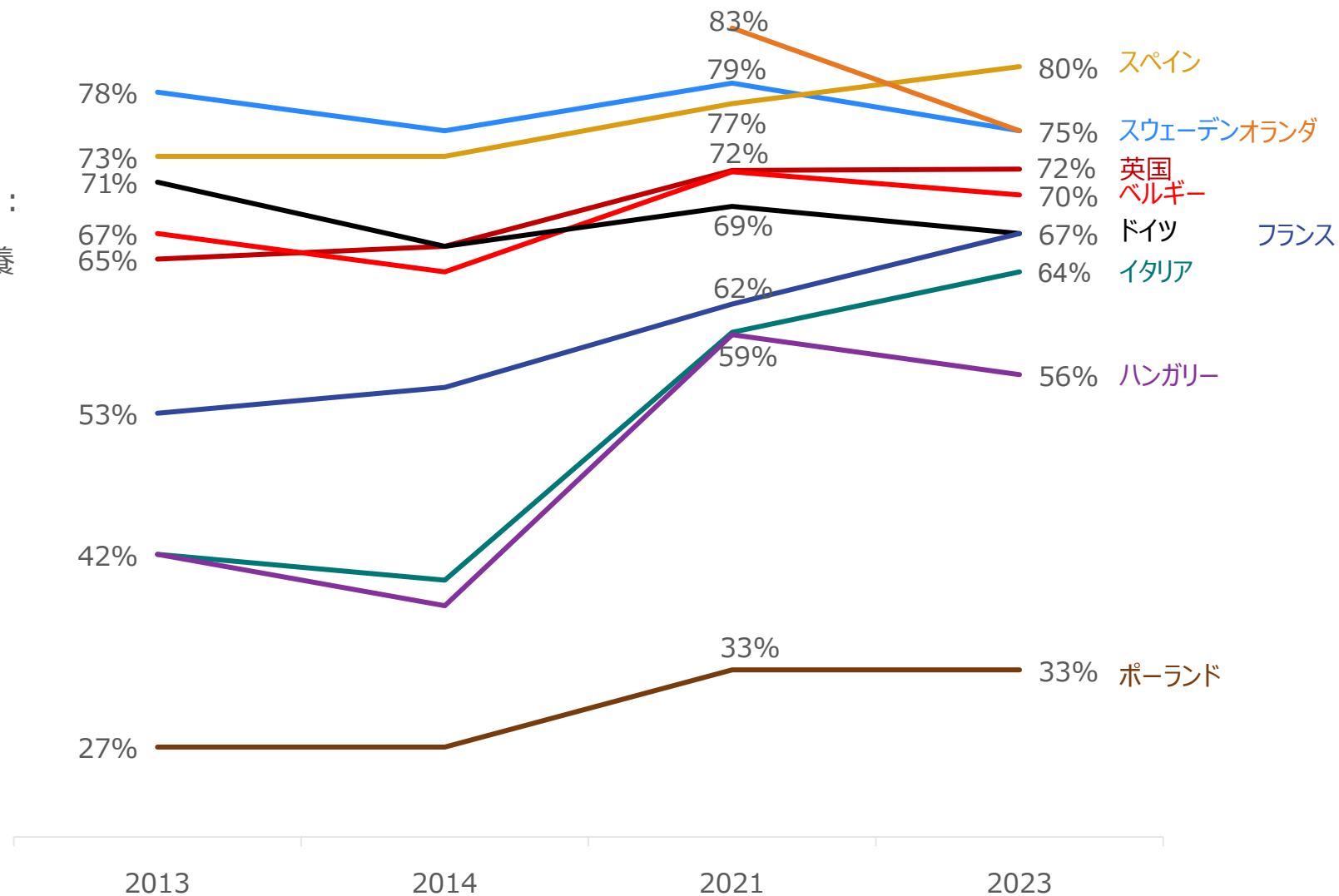
■ わからない

■ 強く／やや反対



同性婚における養子縁組の 権利に対する支持の変化 (ヨーロッパ)

Q.同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：
同性婚カップルは、異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべき(賛成の割合)

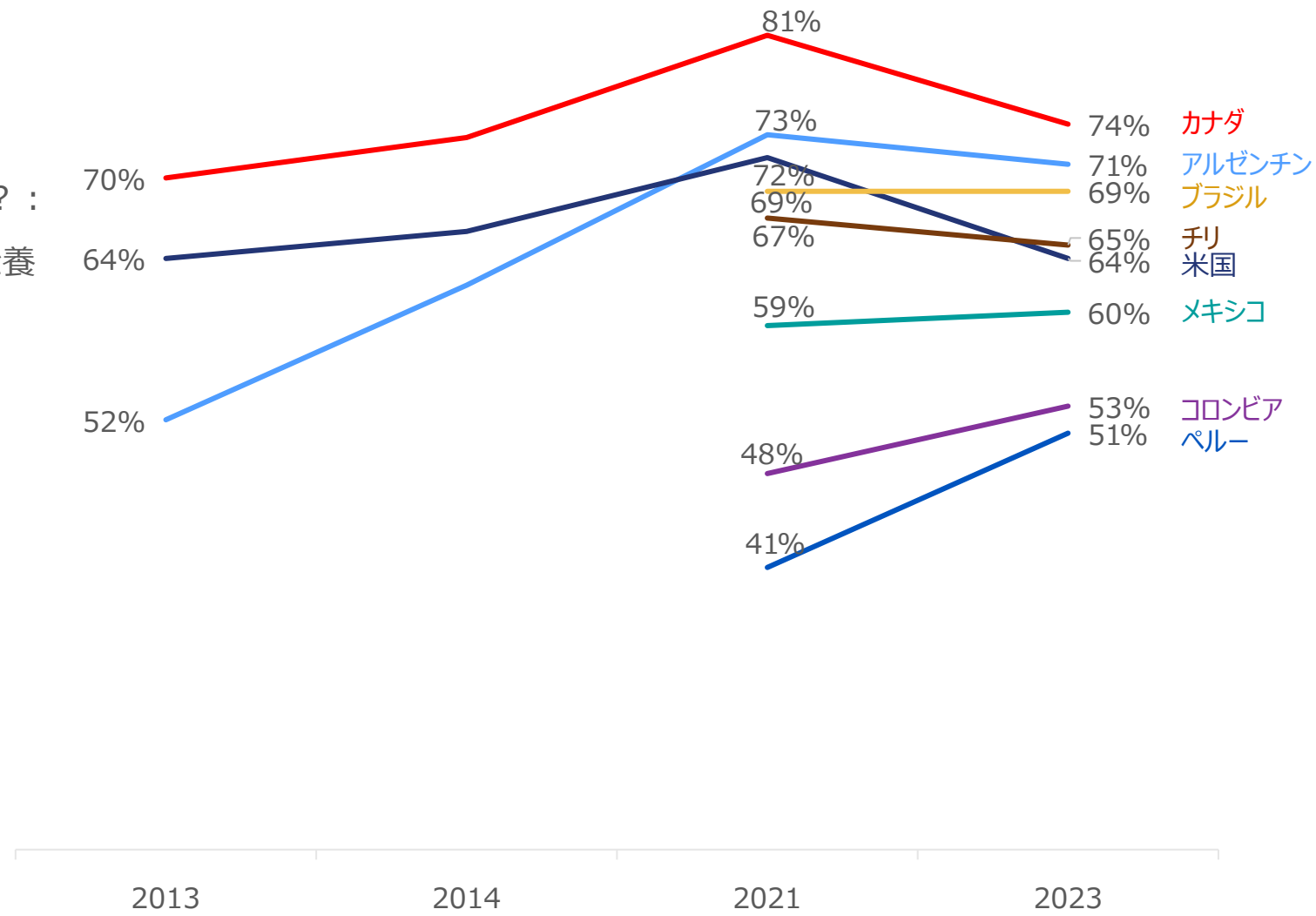


ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

同性婚における養子縁組の 権利に対する支持の変化 (アメリカ大陸)

Q.同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：

同性婚カップルは、異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべき(賛成の割合)

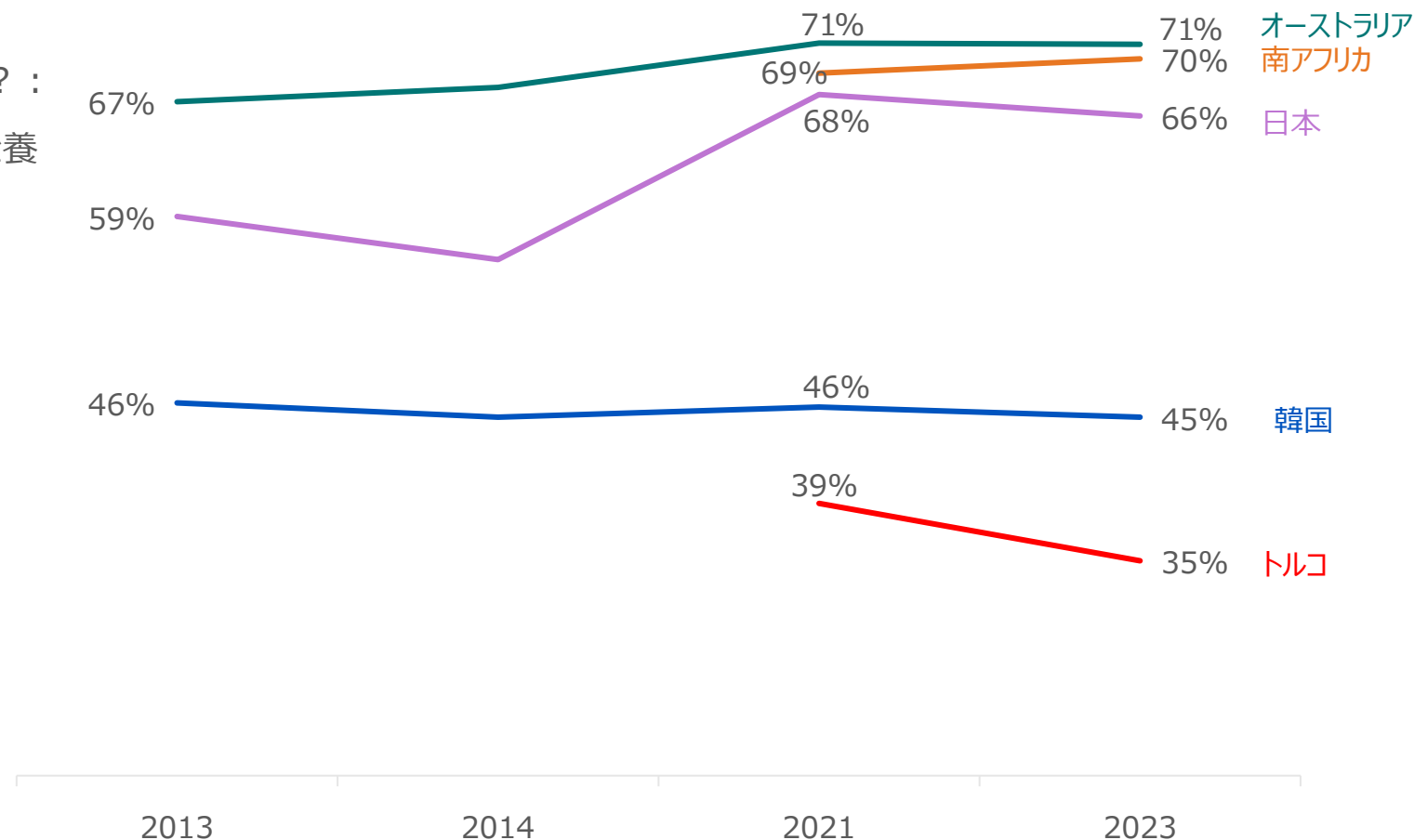


ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。



同性婚における養子縁組の 権利に対する支持の変化 (アジア太平洋/アフリカ)

Q.同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：
同性婚カップルは、異性婚カップルと同様に子供を養子にする権利を持つべき(賛成の割合)



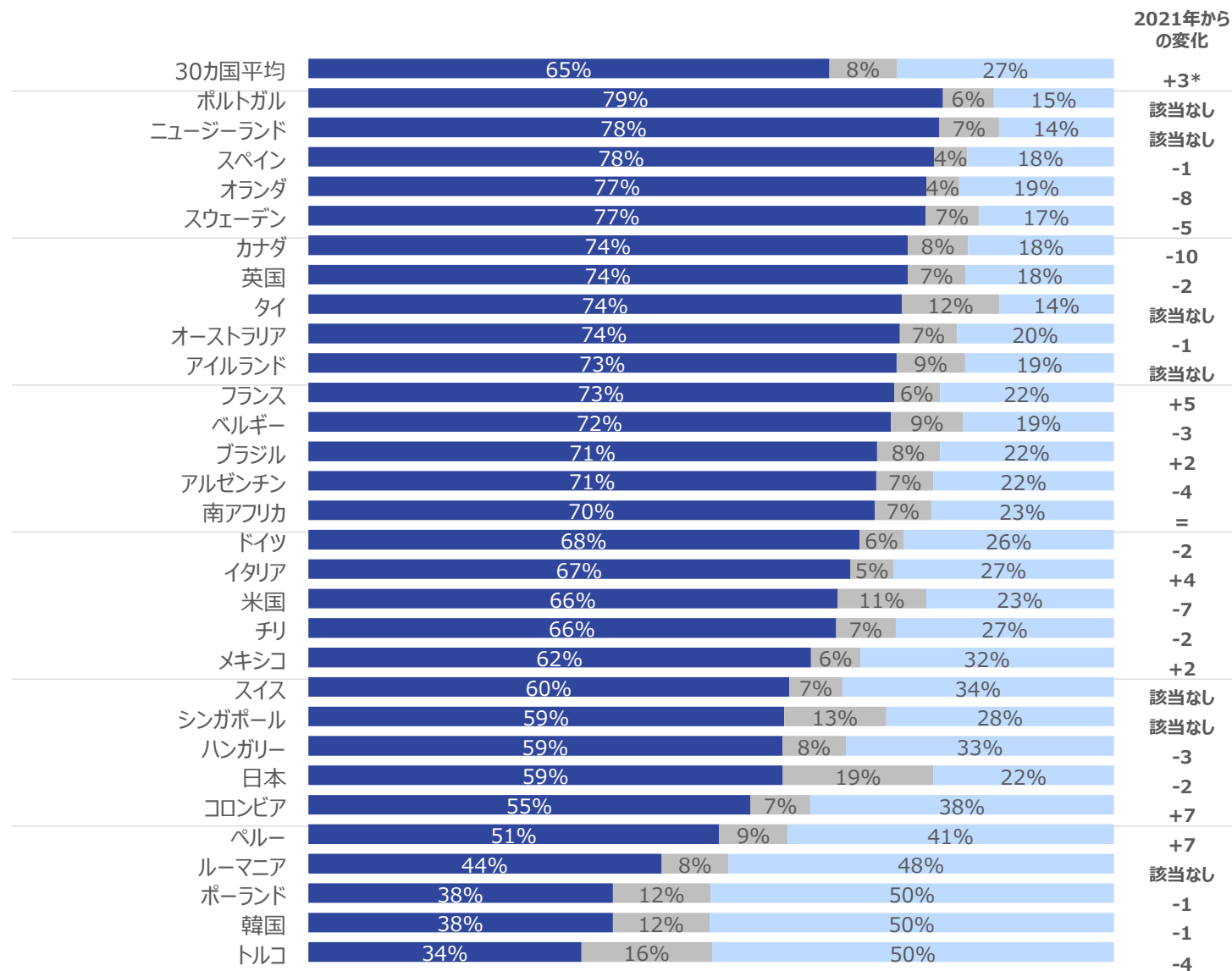
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 同性婚における子育てに関する見解

Q. 同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：

同性婚カップルは他の親と同じように子供をうまく育てられる

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



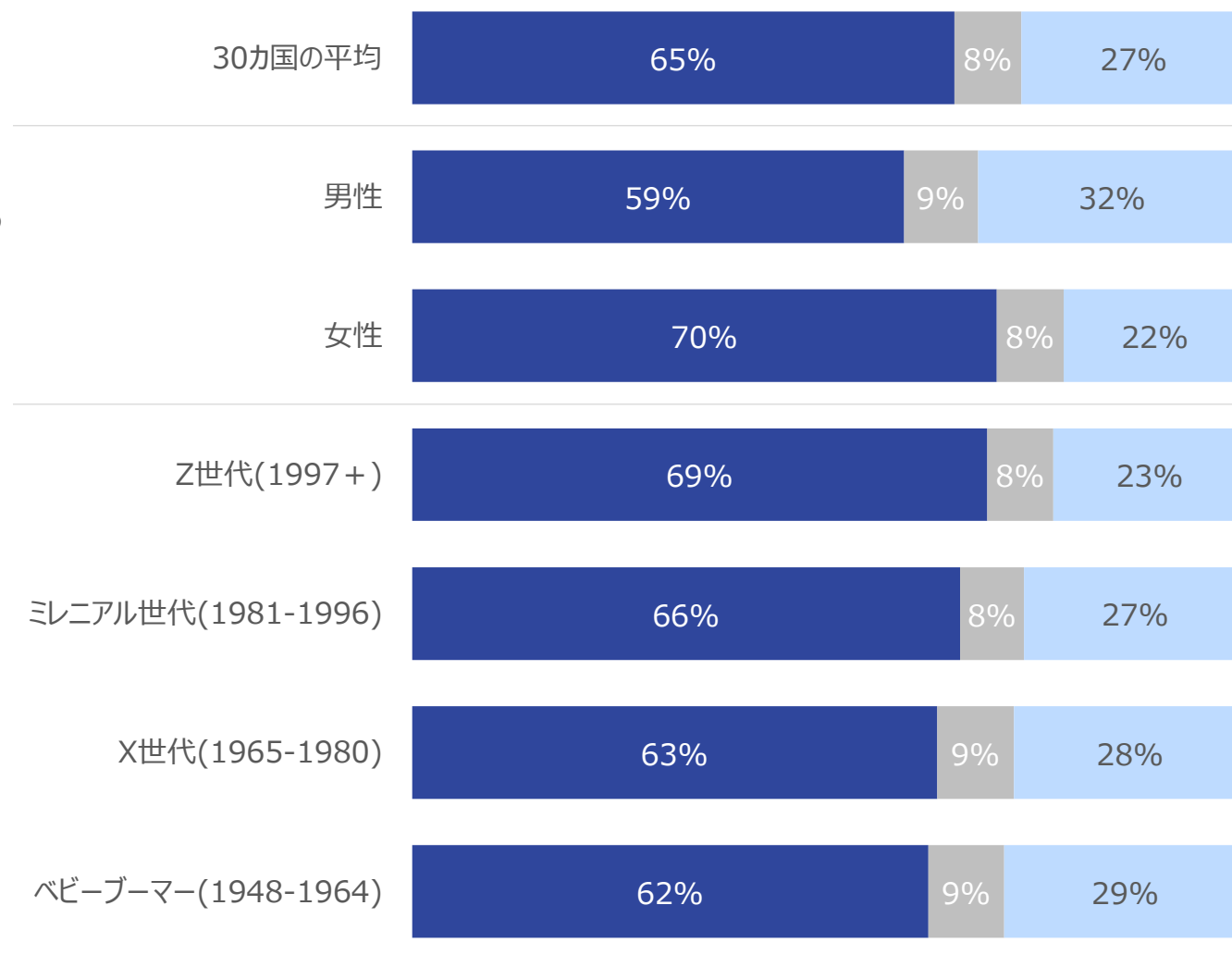
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

* 2021年と2023年の平均調査対象国は23カ国

ジェンダー別、世代別にみる 同性婚における子育てに関する 見解

Q.同性婚について、どの程度賛成／反対ですか？：
同性婚カップルは他の親と同じように子供をうまく育てられる

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

トランスジェンダーに関する課題



トランスジェンダーに関する課題についての見解 – サマリー

世界的に見ると、67%がトランスジェンダーの人々は少なくともかなりの差別に直面していると回答し、これに対してほとんどあるいは全く差別に直面していないと回答した人は19%であった。差別の意識はスペイン語圏とポルトガル語圏で最も高く、スイス、ドイツ、日本では最も低くなっている。

調査対象の30カ国において、トランスジェンダーの人々が雇用、住居、レストランや店舗などの利用において、差別から守られるべきだという意見への賛同がそれぞれ過半数を占めた（平均76%）。

その他の施策についての支持は、より複雑である：平均で60%が、「トランスジェンダーのティーンエイジャーが親の同意のもとでカウンセリングやホルモン補充治療などのジェンダーアファーマーシェーションケアを受けることを認めるべきである」、55%が「トランスジェンダーの人々が性別に合った男女別の施設（公衆トイレなど）を利用することを認めるべきである」、53%が「パスポートなどの政府発行書類には、どちらとも言えない人々のために「男性」「女性」以外の選択肢を設けるべきである」、47%が、「健康保険制度は他の医療行為と同様に性転換費用を負担するべきである」としている。

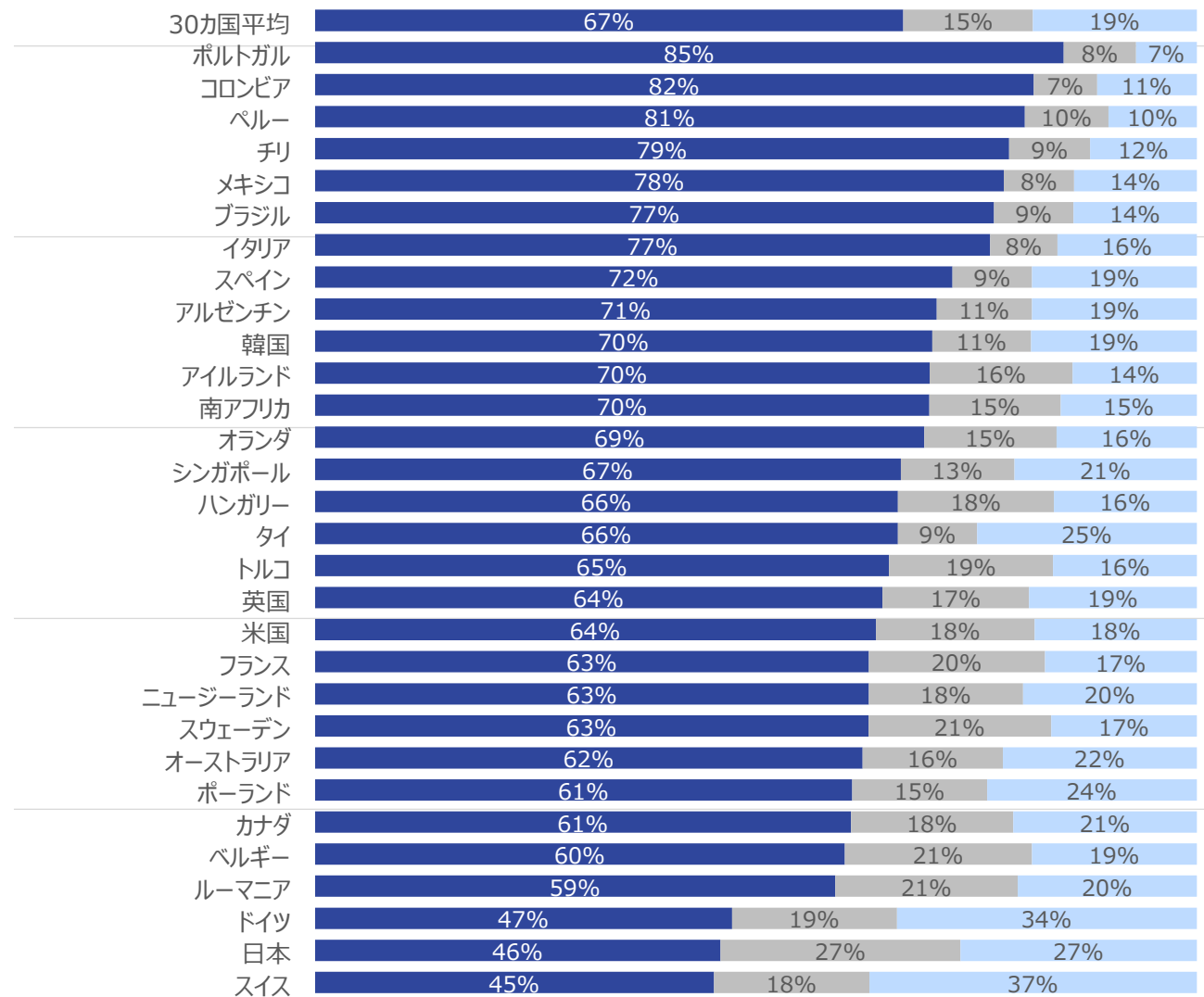
調査対象30カ国のうち、タイ、イタリア、スペイン、およびラテンアメリカ全域では、トランスジェンダーの保護に関するさまざまな施策への支持が常に高く、韓国、東ヨーロッパ全域、英国、およびトランスジェンダーの権利と保護が政治的な対立軸となっている米国では低い傾向が見られる。

女性や若年層は、男性や高齢層に比べて、トランスジェンダーのコミュニティが多くの差別を受けていると回答する割合がそれぞれ高くなっている。また、トランスジェンダーに配慮したあらゆる施策への支持率も高く、女性と男性、Z世代とベビーブーマー世代では約6～9ポイントの差がある。この世代間ギャップの一因として、X世代とベビーブーマー世代は若い世代に比べて、特定のトランスジェンダー問題やトランスジェンダーが直面する差別の大きさについて意見を持たない傾向があり、その理由として、トランスジェンダーの人々を知る機会が少ないということが考えられる。

国別にみる トランスジェンダーに対する 差別の意識

Q.現代社会において、トランスジェンダーの人々は
どの程度差別に直面していると考えますか？

- 大いに／かなり
- わからない
- あまり／まったく

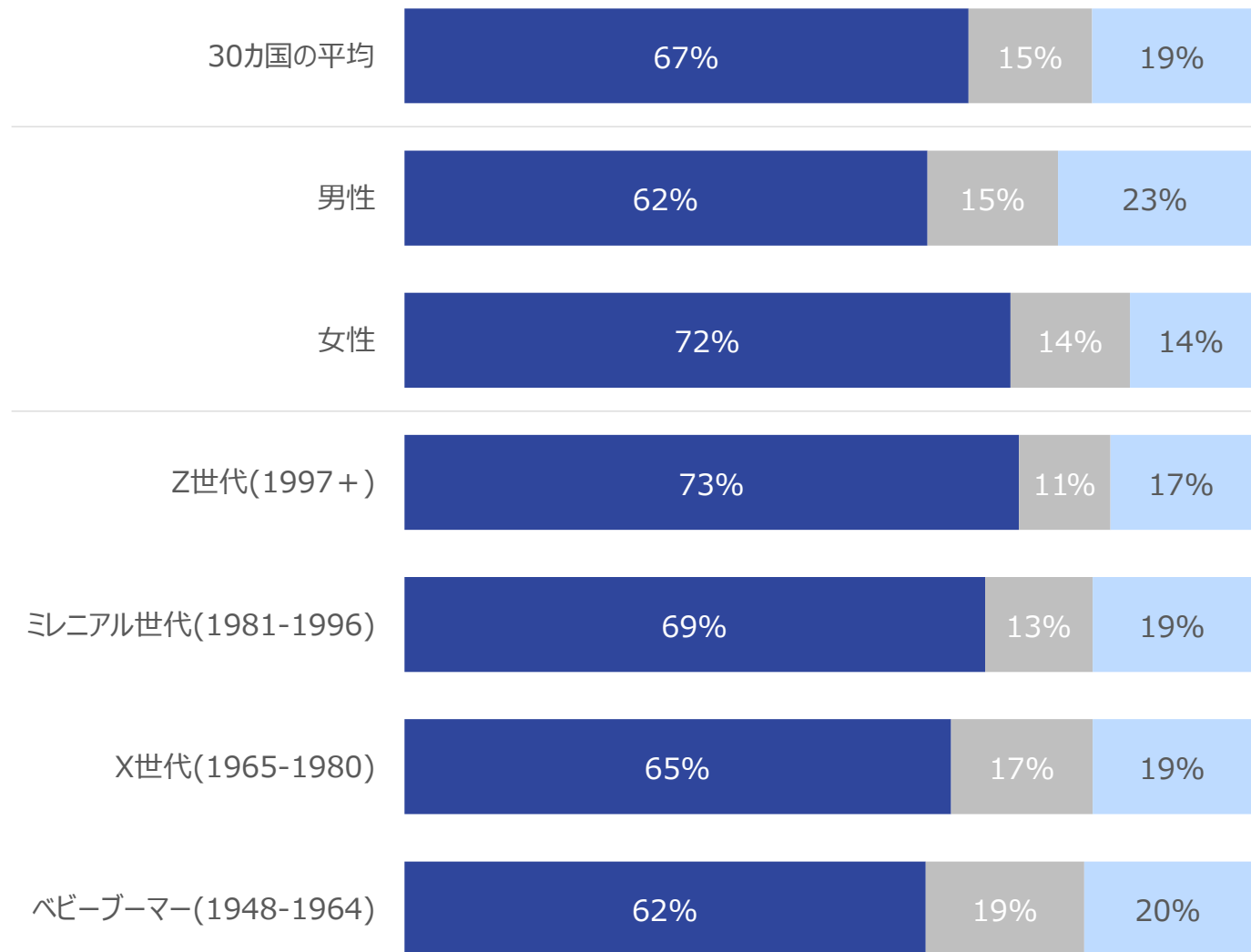


ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる トランスジェンダーに対する 差別の意識

Q.現代社会において、トランスジェンダーの人々は
どの程度差別に直面していると考えますか？

- 大いに／かなり
- わからない
- あまり／まったく



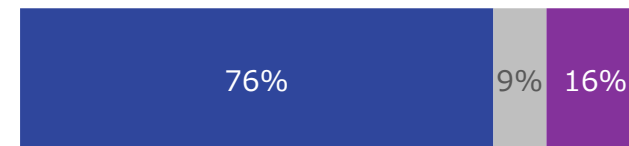
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

トランスジェンダーに関する 課題についての見解 30カ国平均

Q.以下の項目について、どの程度
賛成／反対ですか？

- 強く／やや思う
- わからない
- 強く／やや反対

トランスジェンダーの人々が雇用、住居、レストランや店舗などの利用において、差別から守られるべき



トランスジェンダーのティーンエイジャーが親の同意のもとでカウンセリングやホルモン補充治療などのジェンダーアファーマーセッションケアを受けることを認めるべき



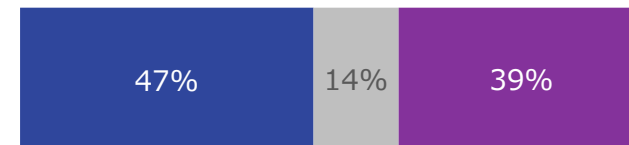
トランスジェンダーの人々が性別に合った男女別の施設（公衆トイレなど）を利用することを認めるべき



パスポートなどの政府発行書類には、どちらとも言えない人々のために「男性」「女性」以外の選択肢を設けるべき



健康保険制度は他の医療行為と同様に性転換費用を負担するべき



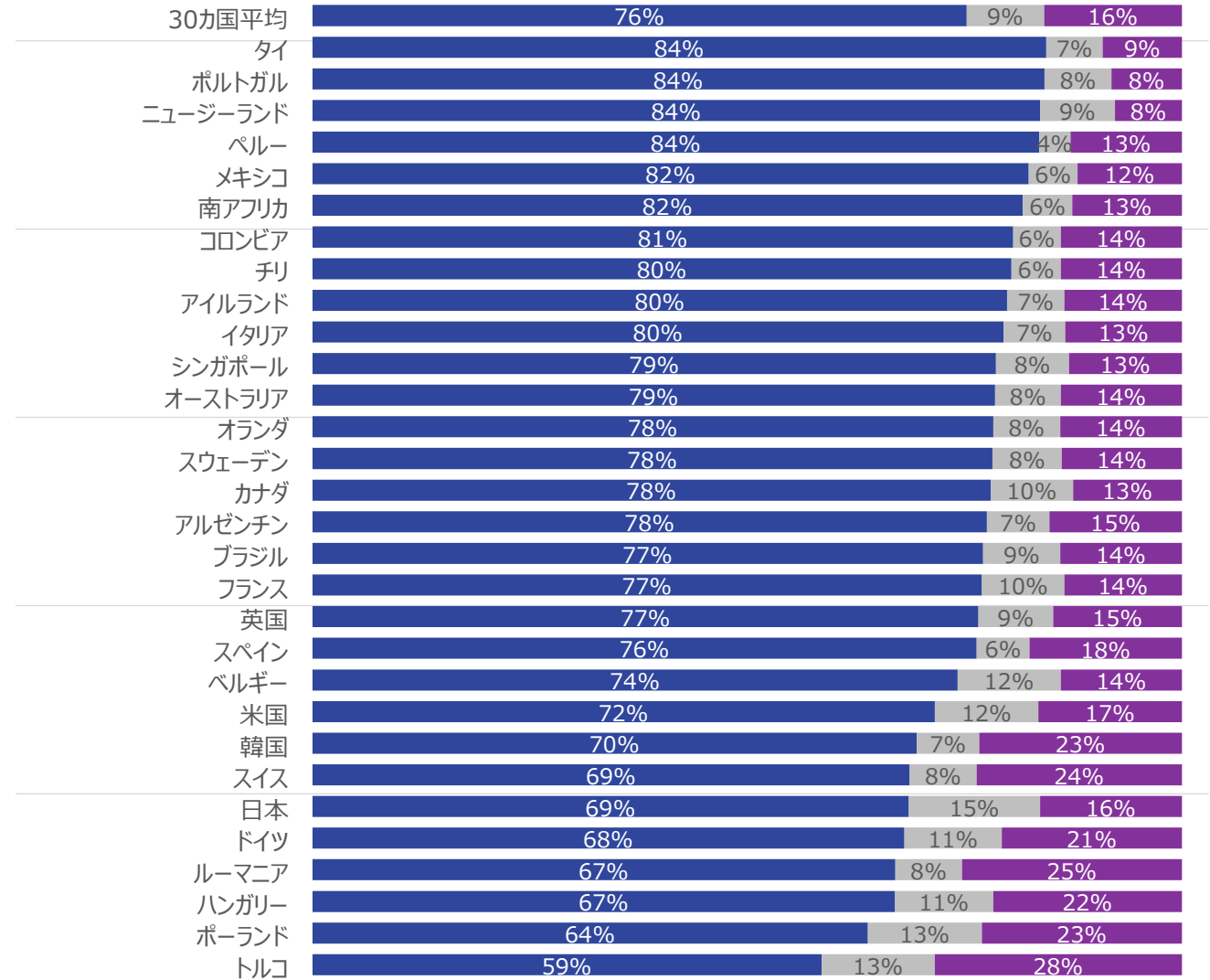
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる トランスジェンダーの差別からの 保護に関する見解

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

トランスジェンダーの人々が雇用、住居、レストランや店舗
などの利用において、差別から守られるべきである。

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



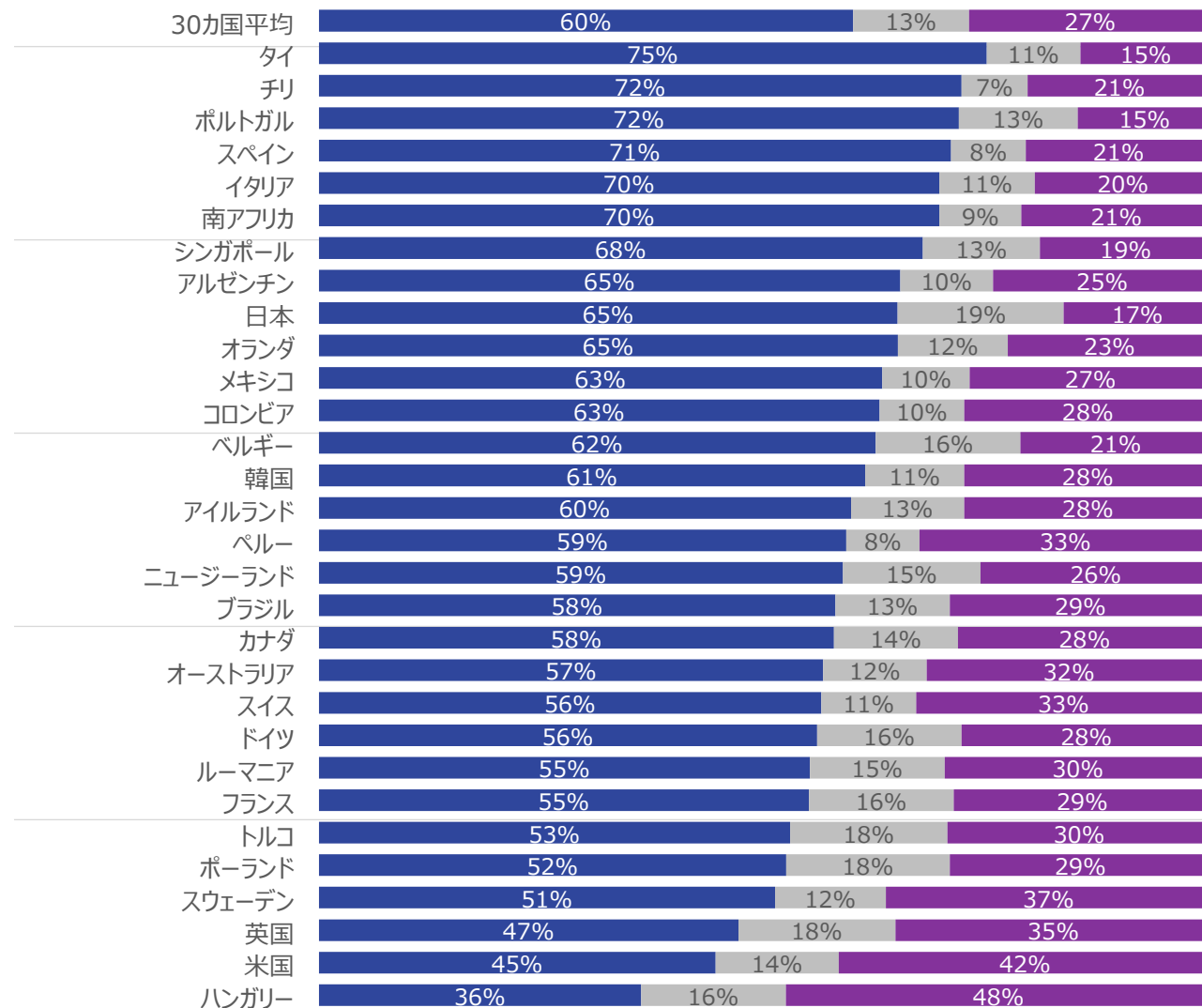
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみるティーンエイジャーのジェンダーアファーマーシヨンケアの利用に関する見解

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

トランスジェンダーのティーンエイジャーが親の同意のもとでカウンセリングやホルモン補充治療などのジェンダーアファーマーシヨンケアを受けることを認めるべきである。

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



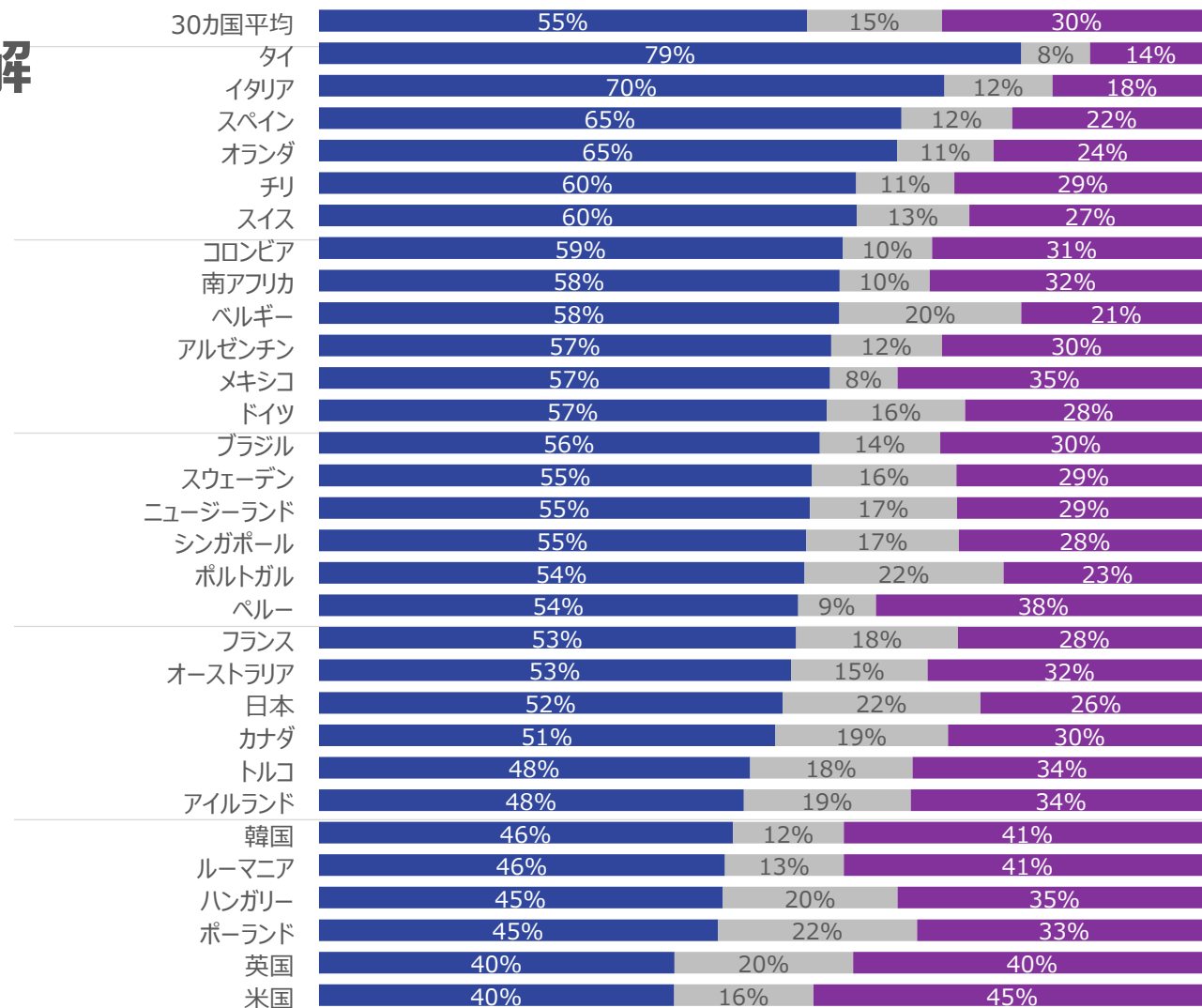
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 性自認に合った施設の利用に関する見解

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

トランスジェンダーの人々が性別に合った男女別の施設（公衆トイレなど）を利用することを認めるべきである。

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対

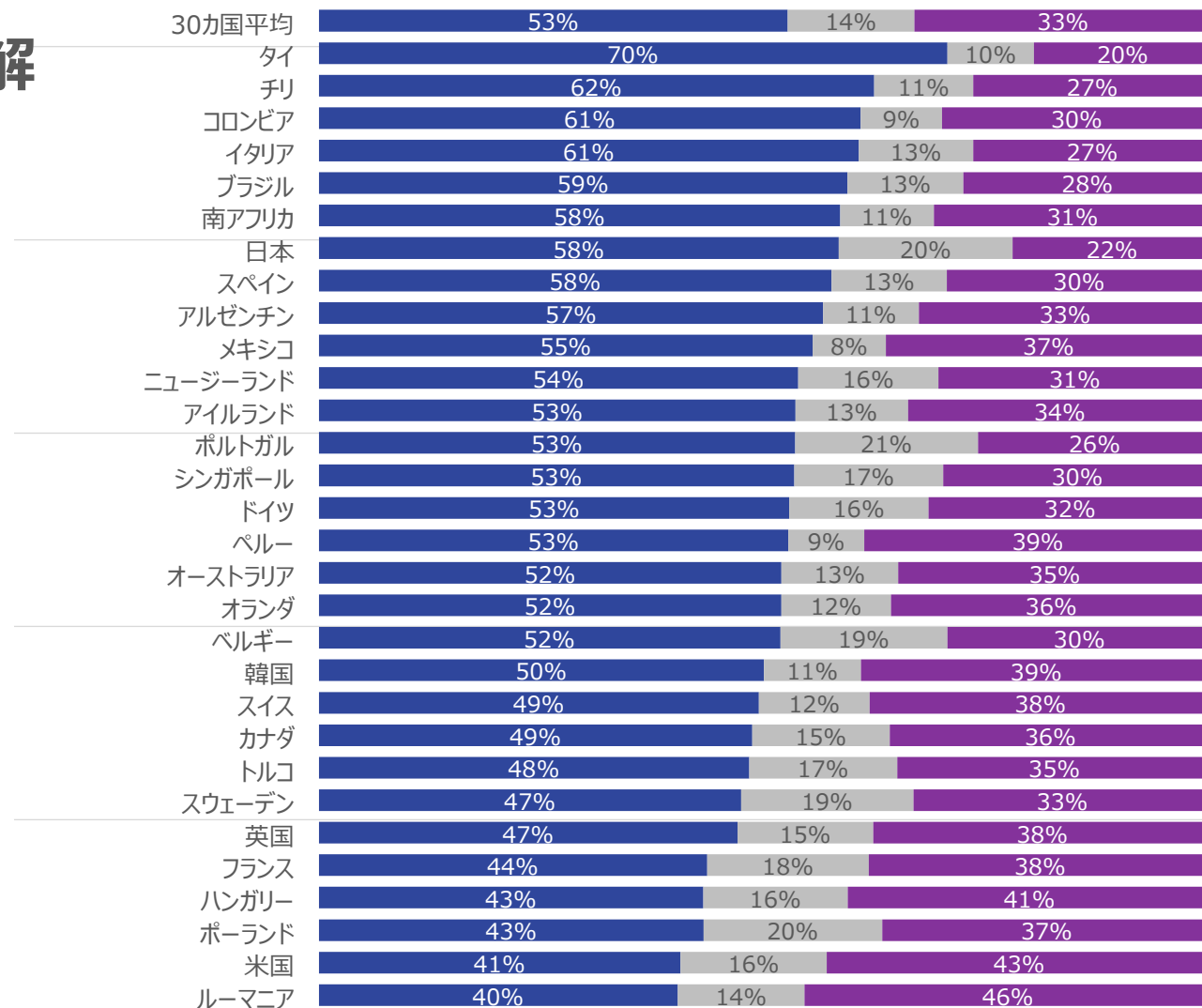
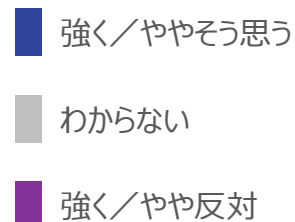


ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 公式文書における性別選択についての見解

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

パスポートなどの政府発行書類には、どちらとも言えない人々のために「男性」「女性」以外の選択肢を設けるべきである。



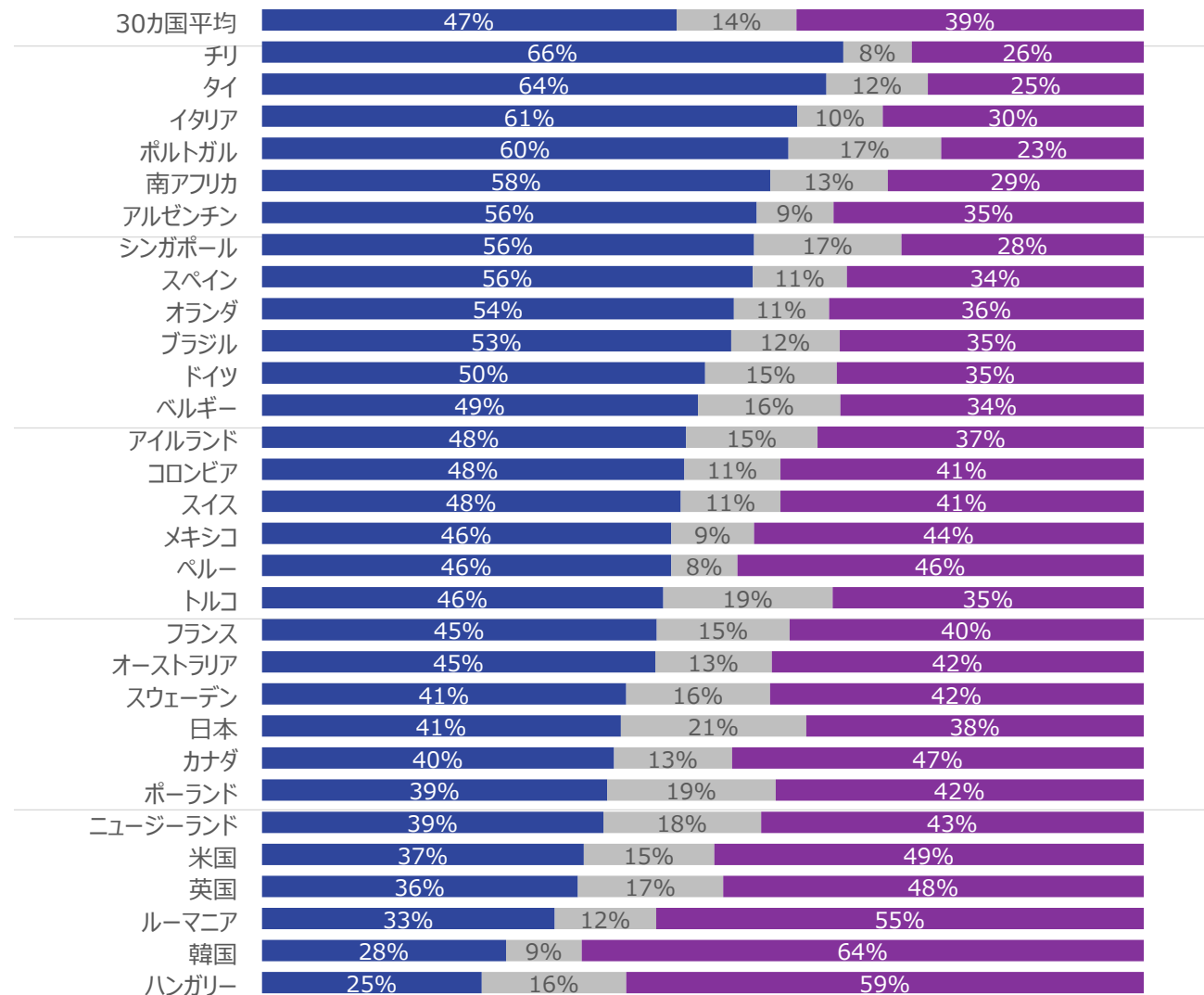
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

国別にみる 性転換費用の保険適用に関する見解

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

健康保険制度は他の医療行為と同様に性転換費用を負担するべきである。

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる トランスジェンダーの差別からの 保護に関する見解

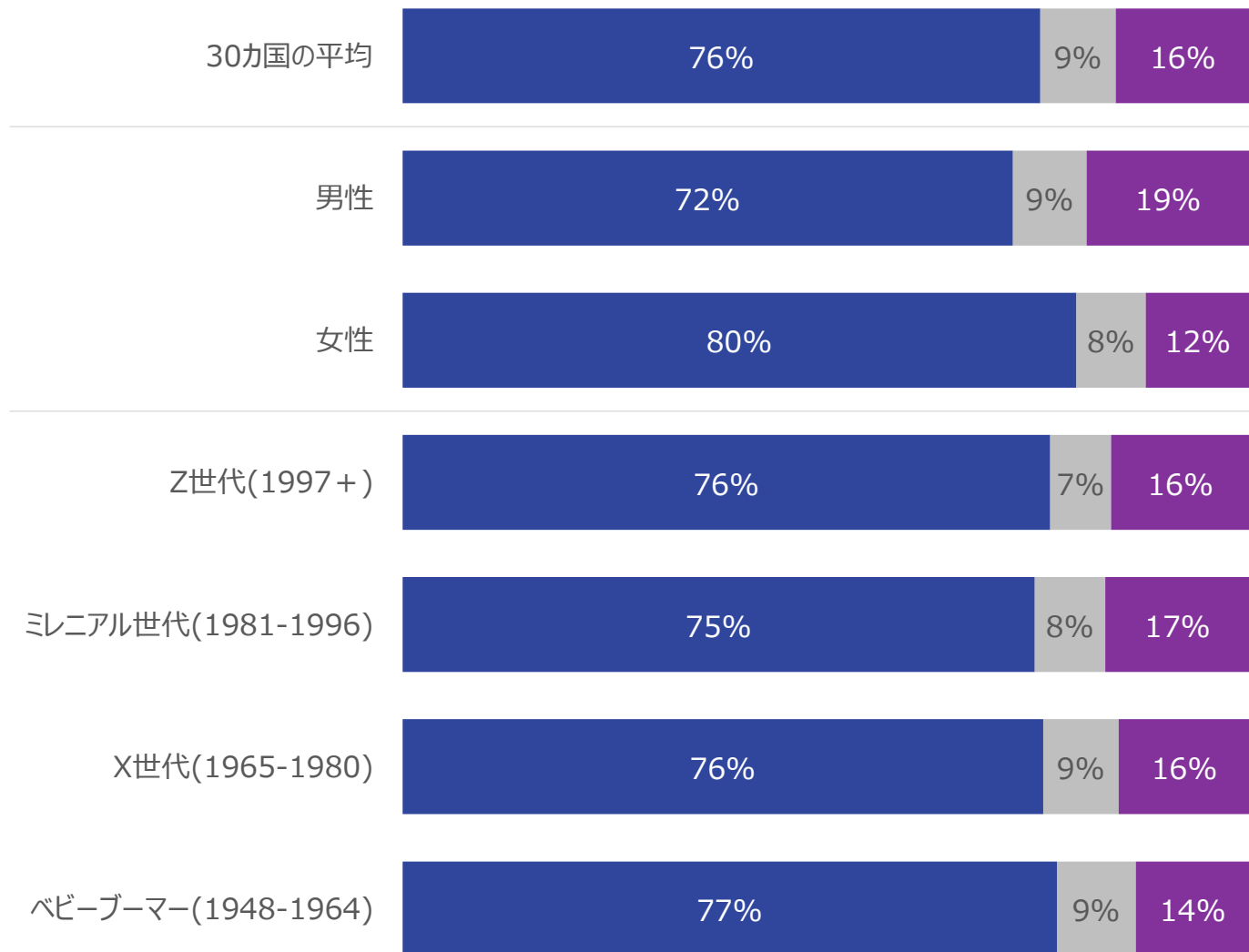
Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

トランスジェンダーの人々が雇用、住居、レストランや店舗
などの利用において、差別から守られるべきである。

■ 強く／ややそう思う

■ わからない

■ 強く／やや反対



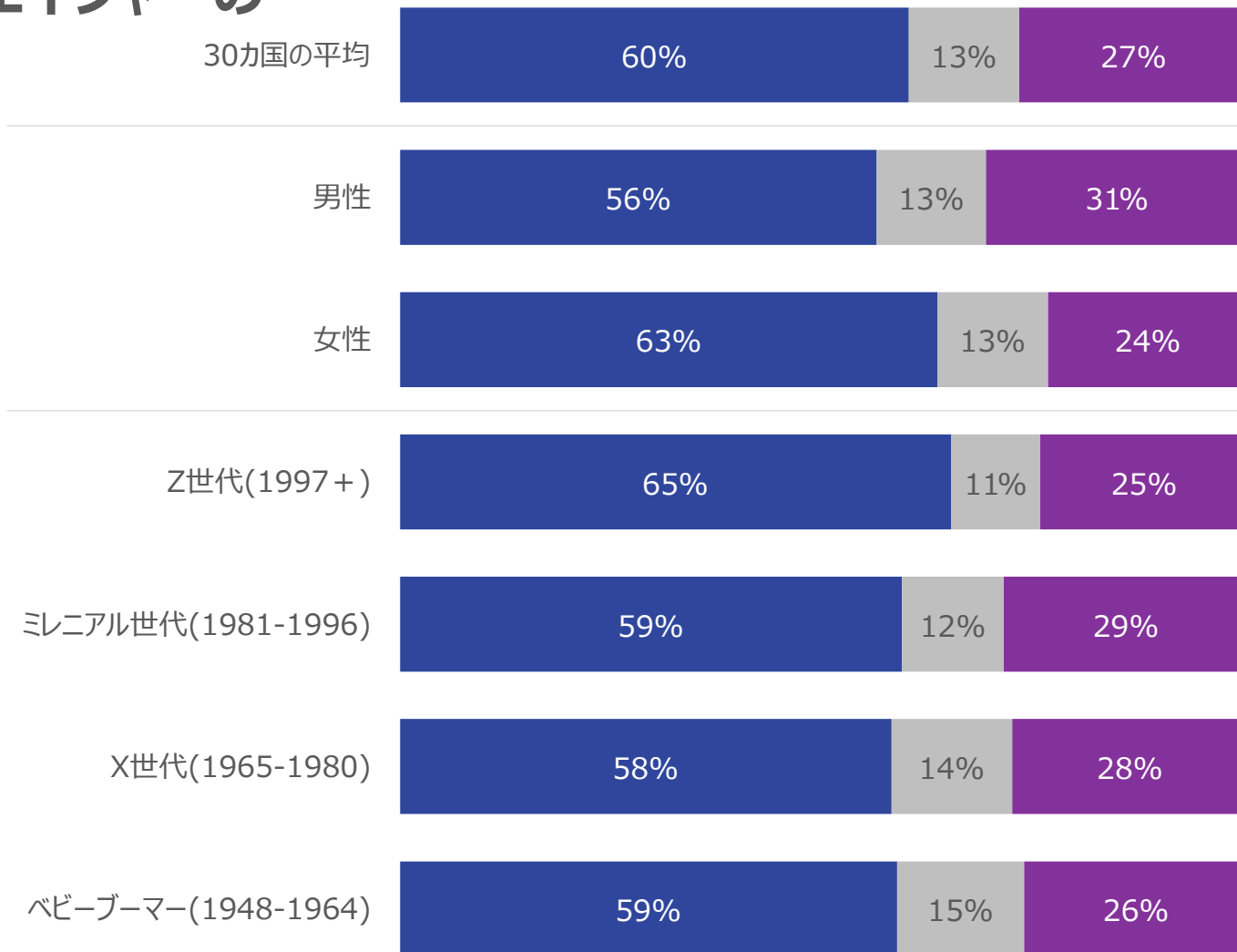
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみるティーンエイジャーの ジェンダーアファーマーションケアの 利用に関する見解

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

トランスジェンダーのティーンエイジャーが親の同意のもとで
カウンセリングやホルモン補充治療などのジェンダーア
ファーマーションケアを受けることを認めるべきである。

- 強く／ややそう思う
- わからない
- 強く／やや反対



ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる 性自認に合った施設の利用に関する見解

世界各国の平均



Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

トランスジェンダーの人々が性別に合った男女別の施設（公衆トイレなど）を利用することを認めるべきである。

男性



女性



Z世代(1997+)



ミレニアル世代(1981-1996)



X世代(1965-1980)



ベビーブーマー(1948-1964)



■ 強く／ややそう思う

■ わからない

■ 強く／やや反対

ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

ジェンダー別、世代別にみる 公式文書における性別選択についての 見解

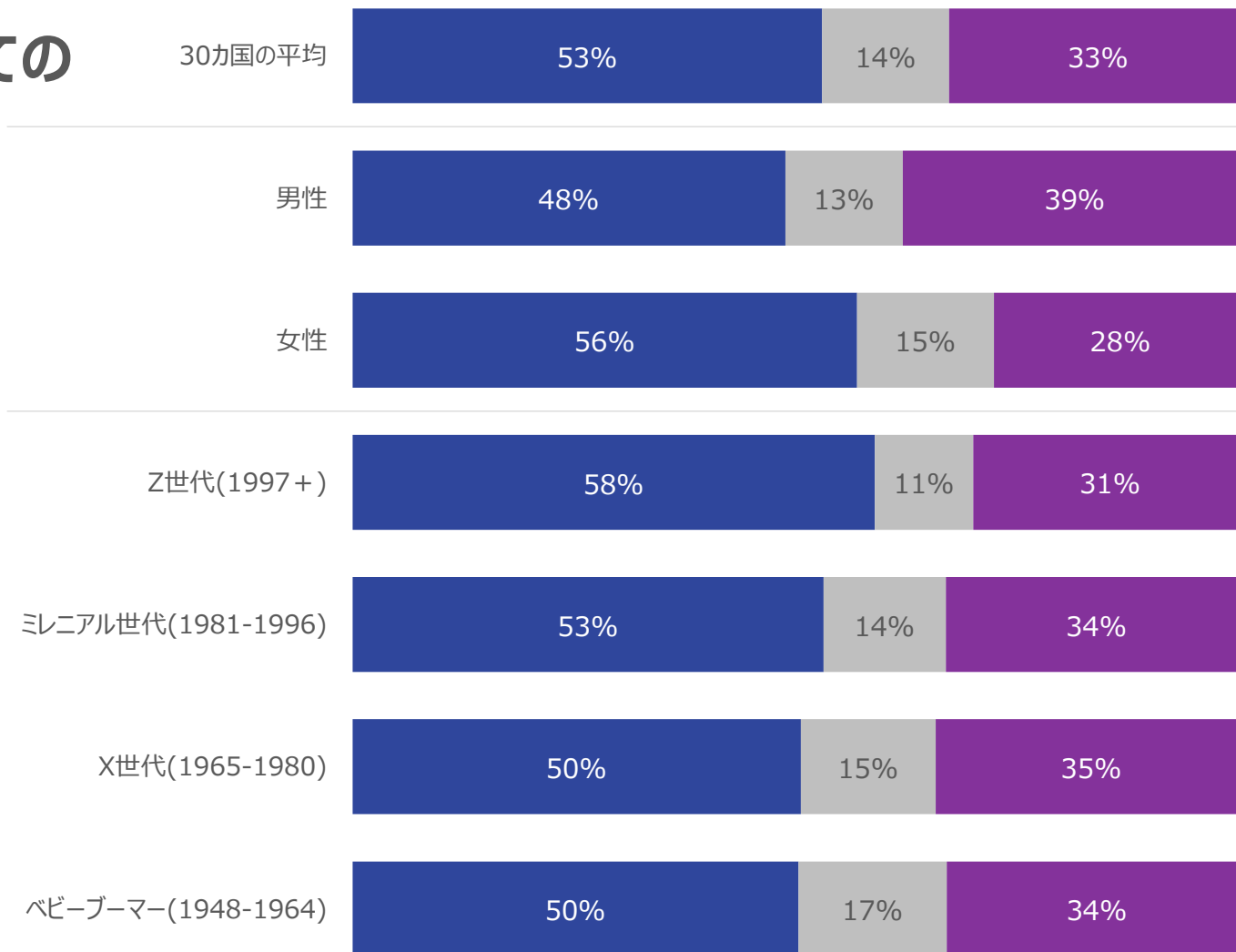
Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

パスポートなどの政府発行書類には、どちらとも言えない人々のために「男性」「女性」以外の選択肢を設けるべきである。

■ 強く／ややそう思う

■ わからない

■ 強く／やや反対



ジェンダー別、世代別にみる 性転換費用の保険適用に関する見解

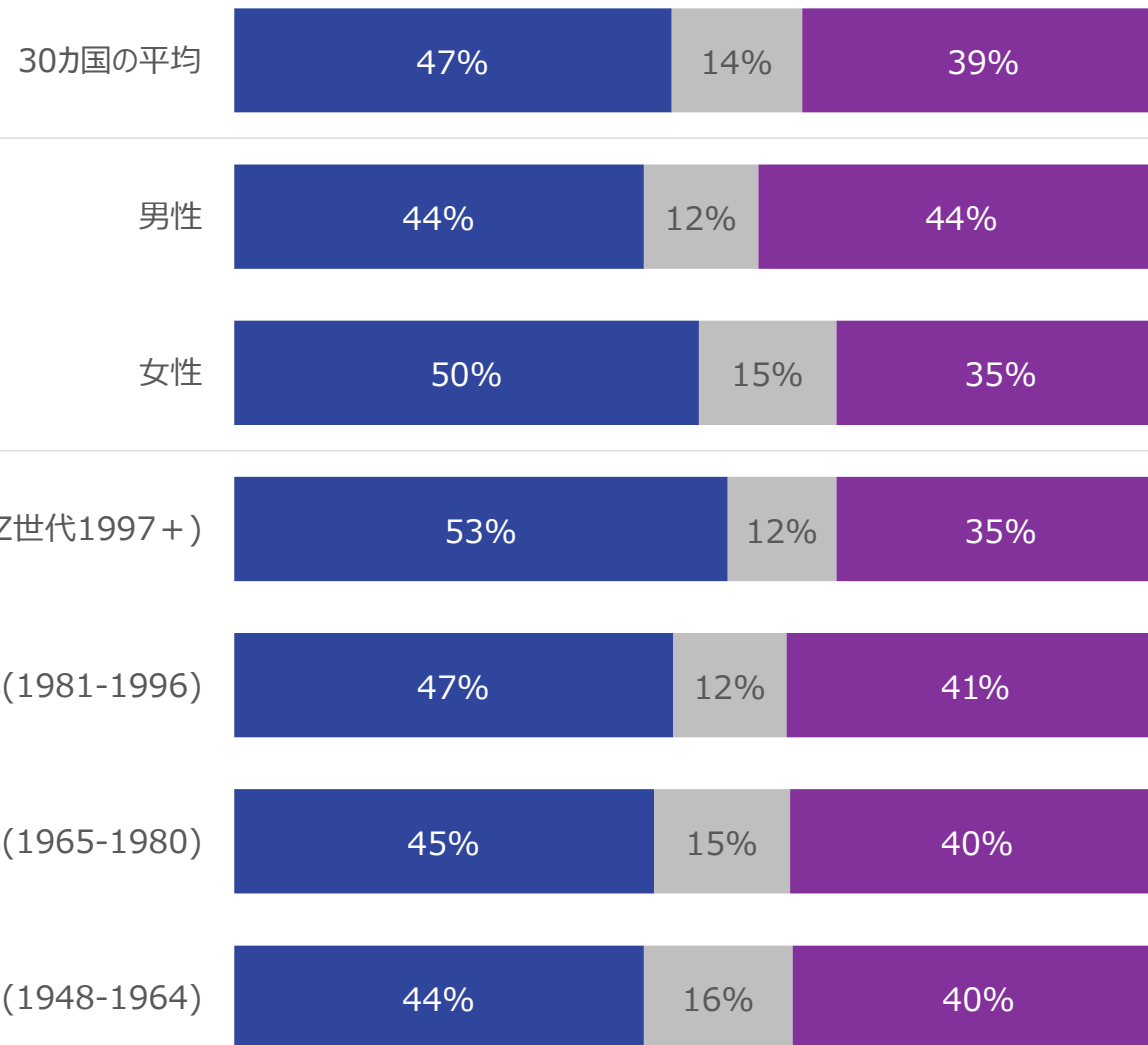
Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？

健康保険制度は他の医療行為と同様に性転換費用を負担するべきである。

■ 強く／ややそう思う

■ わからない

■ 強く／やや反対



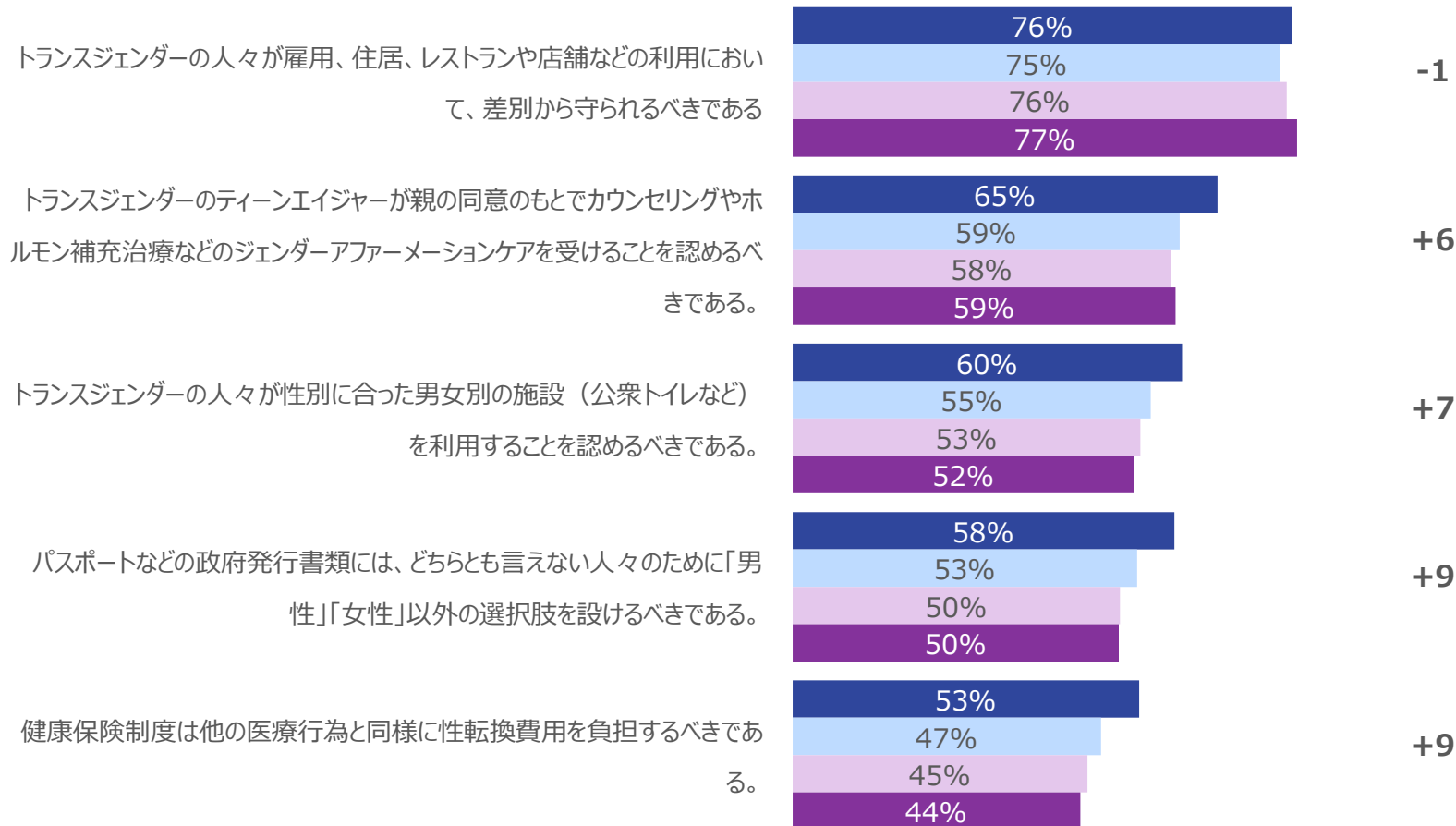
ベース：30カ国の16～74歳のオンライン上の成人22,514人
ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。

トランスジェンダー課題に関する見解の世代間の差

Z世代 > ベビーブーマー

Q.以下の項目について、どの程度賛成／反対ですか？(賛成の割合)

- Z世代 (1997年+)
- ミレニアル世代 (1981-1996)
- X世代 (1965-1980)
- ベビーブーマー (1948-1964)



ベース：30カ国の16~74歳のオンライン上の成人22,514人
 ブラジル、チリ、コロンビア、インド、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのオンライン上のサンプルは、一般人口に比べより都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。



調査方法

- この30カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年2月17日～3月3日にかけて、カナダ、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の、合計22,514人を対象に、イプソスのオンライン調査プラットフォームで実施された。
- サンプルは、オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、メキシコ、ニュージーランド、シンガポール、韓国、スペイン、タイ、米国の各1,000人、アルゼンチン、ベルギー、チリ、コロンビア、ハンガリー、アイルランド共和国、オランダ、ペルー、ポーランド、ルーマニア、南アフリカ、スウェーデン、スイス、トルコ の 各500人から成る。
- アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。
- ブラジル、チリ、コロンビア、アイルランド、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。
- データは、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。
- 「30カ国の平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。
- パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多いまたは少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。
- イプソスのオンライン世論調査の精度は、1,000人の世論調査の精度を±3.5%ポイント、500人の世論調査の場合は±5.0%ポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスが使用する信頼区間に関する詳細は、イプソスのウェブサイトを参照のこと。
- 本調査結果の公表は現地の規則に従う。

イプソスについて

イプソスは世界有数のグローバルマーケットリサーチ企業で、世界90カ国の市場に展開し、18,000人以上を雇用しています。

当社のリサーチ専門家、アナリスト、科学者は、市民、消費者、患者、顧客、または従業員の行動、意見、モチベーションに関する強力なインサイトを提供する独自のマルチスペシャリスト能力を構築しています。当社の75のビジネス・ソリューションは、調査、ソーシャルメディア・モニタリング、定性的または観察的手法から得られる一次データに基づいています。

私たちのキャッチフレーズである“Game Changers”は、変化する世界の中で、5,000社にのぼるクライアントの皆様をシンプルにナビゲートしたいという私たちの意欲を表す言葉です。

1975年にフランスで設立されたイプソスは、1999年7月1日からパリ株式市場に上場しています。同社はSBF120およびMid-60 indexの一部であり、決済繰延サービス（SRD）の対象です。

ISIN code FR0000073298, Reuters ISOS.PA, Bloomberg
IPS:FP
www.ipsos.com

GAME CHANGERS

急速な変化の中で、確実な意思決定を行うための信頼できる情報の必要性は、かつてないほど高まっています。

私たちは、クライアントの皆様が必要としているのは単なるデータサプライヤーではなく、正確で関連性のある情報を提供し、それを実行可能な真実に変えることができるパートナーであると信じています。

だからこそ、イプソスの熱意あふれる好奇心旺盛なエキスパートは、正確に測定した調査結果を提供するだけでなく、社会、市場、そしてそこに生きる生活者を真に理解するための調査結果を提供するのです。

そのために私たちは、最高の科学、技術、ノウハウを使い、私たちの原則であるSecurity(安全)、Simple(シンプル)、Speed(スピード)、Substance(意味ある内容)に則り行動します。

クライアントの皆様がより速く、より賢く、より大胆に行動できるように。突き詰めていくと、成功はこのシンプルな真実に帰着します：

YOU ACT BETTER WHEN YOU ARE SURE